

東京大学史料編纂所蔵『庭訓往来抄』（謄写本）翻刻

小木曾 千代子

ここに翻刻するのは、東京大学史料編纂所蔵の謄写本『庭訓往来抄』である。本書は、先に翻刻紹介した天理図書館所蔵『庭訓私記』の異本に当たる（本誌第五十五卷第二号・第五十六卷第一号 二〇二一年三月・一〇月）。両本共に解釈困難な箇所があり、両本を併せ見ることにより理解が深まる。本書を翻刻した動機もその点にある。とは言え天理本の場合も今般も原本との照合ができて終わった。よって不十分な翻刻であることの悔いは残るものの多少なりとも参考になれば幸いである。

本書の原表紙と推測される表紙の左肩に直書きで「庭訓往来抄」とあり、綴じ目側下方に「中将（塗り潰し）ノ頼政」とある。また、奥には識語があり慶長三年に江州の惣持寺客坊に於いて日州曾井の僧深覚なる人物が書写したことが分かる。「日州」は「日引」とも見えるが「曾井」の地名が南北朝以降日向国宮崎郡に存在することから「日州」と判断した（『角川日本地名大辞典45宮崎県』他）。裏見返しと推測される面には「観音寺浄光

院什物」とある。巻末識語に依れば原本所蔵者は宮崎市神宮二十三在住の日野巖氏、謄写終了は昭和十六年二月である。謄写本の体裁は袋綴、二十七糎、三十八丁（内題より「浄光院什物」までは三十七丁）。

凡例

- 一、翻刻は、原本に忠実であることを旨とし、意味の通じない箇所もそのままとした。誤字、脱字を括弧内に補った箇所もあるがこのような処理は最小限に抑えた。
- 一、字体は、一部を除き現行字体に改めた。仮名として用いられた「井・子」等は仮名に変換した。但し「下書」はそのままとした。
- 一、濁点は省略し、仮名の場合のみ当該仮名を濁音で示した。
- 一、合字は一字ずつ表記した。踊り字は、漢字の場合は「々」、仮名の場合は「ゝ」と表記し、原本の「く」はそのままとした。踊り字に濁点がついていない場合はそのままとした。文字を再度記入することを省略した縦線は「―」で示した。
- 一、原本の仮名は大小の使い分けが統一されていないものの原本通りとし、大小が明確でない場合は私に判断した。但し施注語彙を掲出した「トハ」は、小書き右寄せに統一した。また、「玉フ」の書き様も「トハ」同様小書きも右寄せもあり、また、どちらとも判断のつかない場合がある。「玉フ」の形で統一した。
- 一、「ニ云」が「云々」であるのか判断がつかず天理本に倣って「云云」とした。
- 一、傍訓は、左にあるものも右に移した。
- 一、補入文字は原本通り右に記し、補入符は で示した。書き入れは、書き入れの位置に示し、場合によって

は当該文字の後に括弧でくくって示した。括弧で示されたものは近代のものと判断して翻刻には反映させなかった。

一、合点は、多くの施注語彙の頭に掛けてあるものの無い場合もあり、その基準は未詳。語彙の一字目に傍線を付して示した

一、原本に句読点は存在しないが私に加えた。

一、塗り潰しは 〇 で示した。また、印字できない文字も 〇 で示し括弧内に推測文字を「カ」の如く示し、示せない場合は字形を説明した。他の文字に置き換えた場合も同様に説明した。難読の場合はその旨注記した。

一、破損・汚損等による不明文字は 〇 で示し、字数不明の場合は「一」で示し、その文字が推測可能な場合は括弧内に記した。

一、見せ消し、上書きはその旨を括弧内に注記した。多くの場合「ヒ」と書き入れてある。

一、本書に改行はなく、各状はその日付を以て見出しとしてある。日付が行頭にある場合も文中にある場合も分かりやすくすべて改行した。日付の上欄に丸印が三月状まで見られるがこの印は省略した。また『庭訓往来』本文についての施注語彙ごとに改行した。序文の部分は適宜改行した。

一、原本に丁付はないものの私に「オ」、「ウ」の如く各面の始めに示した。よって一行目は施注語彙による改行とは限らない。

一、必要に応じて文中に括弧を以て注記した。また、原本は宛字を多用していることから、翻刻上の誤植でないことを示すために一部「マヽ」などと記入した。

一、乱丁部分は、本文が繋がるように入れ替えた。

一、括弧内の注記に「異本」とあるのは先に紹介した天理大学図書館所蔵『庭訓私記』を指す。

(翻刻)

1才

庭訓往来私記上

(長形印「史料編纂所蔵本」)

凡ソ此書ト者仁王九十六代後醍醐天王ノ御宇北畠ノ玄惠法印ノ撰ト見タリ。此玄惠ハ藤原氏ノ人久我ノ家也。所生カ北畠ナレハ北畠ノ玄惠ト申也。居処ハ叡山上綱ニ被ルル拳カ故ニ号山門ノ上綱ト。々々ト者官也。尔時代仁王八十代高倉院ノ御宇ト云説アリ。是非也。爰ニ聚分韻ハ虎関ノ作也。是則仁王九十四代後ニ一条院嘉元年中トアリ。虎関ハ師業トモ云ナリ。五山東福寺ノ住持、玄惠ノヲイ也。物語ニ云、或時玄惠ト虎関ト跡合テ寢玉イテ互ニ夢見セラク。仏教ヲ踏見テ夢覺テ語テ曰ク今ヨリ後、智者ナトノ跡ニネヘカラスト物語スト云伝ヘケリト云。尔者時後醍醐ノ天王ノ御宇ト云義宜歟。去ハ其比ロ山当一ノ才覚、作者第一ノ案者トハ澄惠与玄惠沙汰申セシ也。先玄惠平家ヲ作ラント思ヒ車八両ヲ乗破リカナタコナタノ万ノ事ヲ聞集テ無程ニ平家ヲ草案シテ參内被申ト也。然ニ宿ノ亭主玄惠ニ申様、此程御宿申セシ驗(シ)ニカ我カ子ニ手本遊シ給リ候ヘト申ケル間折リ々ノ次ニ文章一ツ、遊シ玉ヲ集テ十二月二次第シ文数廿五通ニ連ネ玉イテ帝王ヘ奏聞ス(之カ)一ヲ。帝御叡覽ノ余ニ天下ニ弘伝セヨトノ御宣旨也云。

1ウ

又一義云、山中第一ノ名童御座ス。此兒ニ此書ヲ綴リ集テ參ラル、トモ申也。此書ノ時代大概如此ト云。惣シテ

公家ノ文書十三卷部(左に「匕」見せ消ち)アリ。謂ク積素ノ往来明衡ノ往来新撰遊覽ノ々々朗詠式条庭訓等也。望詩歌一則シハ朗詠ヲ、望手本ヲレニカ則シハ書明衡ノ往来ヲ、云フ物語一則シハ源氏伊勢物語ヲ書キ給也。已上大底縁起如此云。

題号庭訓ト者孔子ノ語ニ本付也。孔子ノ子ニ白鯉魚ト云者アリ。天下第一ノ利根也。雖然孔子何事ヲモ教ヘ不給ハ。其故孔子思ハ我大道ヲ教ルトモ如我カ難叶、不レハ叶レ(「レ叶」カ)無念ト思フ故也。尔間三千人ノ学徒ニハ教ヘ給ヘトモ彼白一魚ニハ不教給一。或時白リ魚庭ヲ過ク。子曰、汝ヲ為リ學詩一乎。未知レ。不學詩勿レ物ト云フ事ト云。白一魚返テマ。詩三百篇ヲ學タリ。毛詩ト者大唐ノ落書也ト云。又或時白一魚庭ヲ過ク。子曰、為リ學禮一乎。未知。不學禮勿レ立事。白一魚聞キ重テ為リ誦ミ禮記一。是庭ノ教ト云。如此本語ヲ以テ今幼童ニ誦ノ道ヲ教ラ庭訓ト申也。其後、陳亮カ(亢カ)、白一魚ニ問曰、父、何ヲ教ヘ玉。鯉魚曰、父未タ何事ヲモ不教玉。或時庭ヲ走ル嘩呵シテ曰ク不學詩不學禮。此兩度ノ語ヨリ外ニナシト云時ニ陳亮云ク問レ一得三。聞レ詩聞レ禮又聞レ君子ノ其子ヲ遠ク(スルコト)ヲ。本付クハ夫ヲ為シテ父ト道不ハ教一(不カ)可有。為シテ君ト臣ト不ハ2才

誠ニ不可有一。是此云ソト云。里魚既ニ庭ヲ過クルコトニ度也。是ニ學テ今ニ庭訓ト云。只タ庭訓ト申也。往来ト者古往今来ノ義也。意ハ古往ヲ記シテ今来ニ教示スト云意也。又云、彼ヨリ往時ニハ返答来レル此故往来ト云也。一、此書ハ一年十二月ノ記シ風物ヲ依テ官位高家ニ綴リ文章ノ辞ヲ隨テ實賤ノ種姓ニ定ニル字句ノ処一。(仍カ)次第雜登ノ旋テ可キ弁之也。十二月進狀廿四、七月一ツ加テ廿五通也。一、空ニ言時ニハ庭訓ト云ヒ本ニ向フ時ニ庭訓ト云フ也。其故ハ本ニ向時論語ト云ヒ空ニ言時論語ト云カク也。

正月五日ノ文

春始ト書ク事、春モ九十日アル間只春ノ悦ト書ケハ時分不知故ニ平ラニト春ノ始ト書玉フコト正月ヲ約ス也。新春ナト、書ケハ^(マ)比興^(ナル)歟云。迎モ春ノ始ト云ヘハ新ノ字改ノ字自ラ聞ルコト也。旧抄云、春ハ蠢也。万物、冬籠陰居セシカ春立ッ今日ヨリ万物ムグメキ出^ル又万ニ渡テ物始ル義尔也。蠢ムグメクト誦也。春万ノ虫ヲ出^ルコトヲ^{シツ}蟄^キ(放カ)ト云也。

御悦トハ正月朔日ノ御悦也。

先向^テ貴方ニトハニ説アリ。一ニハ我カ先ツ親方タル人ヲ云也。一ニハ其年ノ遊年ノ方ヨリ歳徳来リ玉^テハ其方ヲ貴方ト云事アリ。歳徳トハ^(マ)者盤古^(マ)古大王ノ乙姫、本地文殊菩薩ト申也。名ヲハ待達神ト云。彼ノ神、遊ヒ玉フ方

(也カ)ハ先ツ向^テ万ノ祈誠ヲ申間向^テ貴方ニ悦申^云。

畢^{ント}畢^{ヌト}ニツ也。畢^ハハ^ハヲハルヘシト云義也。畢^ヌハ^ヲワ^ツタル義也。

候^ハ男ノ辞也。ソコト云也。

2ウ

サブラウト云ハヤワラク詞ニシテ女房ノ詞也。

富貴トハ富ハ米錢充滿ルル義也。貴ハ官位也。

万福トハ天ノ与^ヘラ福ト云ヒ地ノ与^ラ徳ト云也。

幸甚トハサイウイトイクハク也。

抑^トハ復也。マタ^ク云心也。如此ノ詞^ヲハ教相^ニ結^テ前生後ノ字^ト云心ニ上^ラ受^ケテ述也。

朝^ト拜^ハ臣^{タル}者^ノ君^ヘ急^キ出仕申、元^ニニ^ヲカミ奉^ル云也。旧抄云、天皇必^ス元日、先^ツ冠^ヲ召^シテ天ノ四方^ヲ拜^フ也。

朔日^トハ朔^ハ蘇也。生也。晦日^ハ灰也。死也。除州日畢^テ正月元日改^ル故也。余ノ十一月如此其月終^ルハ死也。始^ハ生也。

元^三ト^ハ元朝^ヲ云、三^ト八年月日ノ三^ツ也。或^ハ三^ケ日^ヲ云義アリ。其^ノ故^ハ上古^ハ正月ノ祝義廿日迄也。余^リニ久^クト^テニ^ケ日^ニ縮^ル云。今^モ侍方^ニ廿日ノ正月^トテ祝^キ其義也。

次^テ急^ニ申^ト者^君へ参^内申^次ニ其方^ヘモ可^ニ参^ニ処^ニ兔角^ヲソナワルト云義也。人々^トハ公卿殿上人ノ事也。

子^ノ日^ノ遊^トハ撰^政関^白公卿大臣各ノ正月初子三年中風雨霜雪ニヲカサレ又様ニトテ東^ヘ出^テ三尺ノ若松^ヲ根引^ニシテ七本合^テ一^ハ筭^ト五色ノ糸^ニテユイ座^ヲ掃^キ身^ヲ撫^キ心^ロ松^カカ^ク万歳ノ齡^ヲ可^レ保^ツ也ト祝也。去者^官ノ丞相ノ詩ニモ因^ニ松根^ニ摩^ス腰^ヲ（「腰^ヲ」カ）千年ノ翠^満リ手^ニ折^テ梅花^ヲ挿^メ頭^ヘニ二月ノ之雪落^ツ衣^ニ云。私云、松^ハ千秋ノヨハヒヲ持^チ花^ハキサラギコトニ咲^キカウヘニサシ拳^レ八身^ニ散^リカ^ルト云心也。又子日^ハ泰山府君祭^ル日也。泰山^一者南極^ニ星^ノ老人ノ事也。此^ノ三才

星^ハ福^ニ禄^ニ寿^ニ三^ツ宰^間祝^初子^ニ祭^ト云。夫子^ハ十二支^ノ上^ニ天子又人民^ノ上^ニナレハ大王相^心ノ日^ソト祭^ル也。又子^ハ北也。北^々州^ノ千^年齡^目出^タケレ^レ八^彼レ^此祭^リ始^也。此日過^テ公卿各ノ詩歌管絃ノ遊^有云。正

月一日ハ羊日、二日(日脱カ)ハ鹿日、三日ハ鶏日、四日ハ猪日、五日ハ牛日、六日ハ馬日、七日仁日トテ七日ノ間畜類来テ毎レ日無レ患、賢王ノ御代ニハ祭有也。七日ハ人ノ成始日ナレハ仁日ト云。此日ハ五節供ノ第一也。此日コナガキストテ七草ヲ集テ味噌水ニ支度シ君モ供御有ルト申也。去者俊成卿ノ歌集三千載セリナツナゴ形タピラコ仏ケノ座ハコベス、シ口是ソ七草ト誦ナリ。或説ニ昔天竺ニ大曇王ト云大外道アリ。仏法ヲソシル間加璃(月偏)帝王、此ヲ殺シ肉遭丹ト云藥ニ練リテ服ス。此ヲ服スレト老人ハ若ニ帰リ病有ル者即治シ国土大平ニ(ナリカ)福寿増長ナル故ニ三國ニ渡テ学テ此ヲ七日ニ七種ノコナカキスルハ今ノ世万民延命成也(シカ)故也云。返々可祝一也。

谷ノ鶯トハ鶯ノ我カ谷ノ宿寒キニ依テ檐(カ)(木偏に竹その下に空)ノ花ヲ忘レ小蝶モ寒ノ余リニ朝日影ニノミ遊テ園ノ花ヲ思忘ル、カク我等モ思ナカラ御礼無沙汰申シ本意ヲ背ト云心也。仍テ日ノ影トヨムヘカラス。日ノ陰ニナル間只日影トヨミテ吉シ。ノ、カナ無用也。

頗トハ思外ヲ云。多ク本意ヲ背クト云義。惣シテ偏頗ト云時偏ハ一ナリ。頗ハ多也。今モ此意也歟。

楊弓トハ多義アリ。唐玄宗皇帝ノ三千人ノ后ノ中ニ楊貴妃ノ遊ヲ本(ト)カシテ彼弓始玉フ故楊弓雀小弓ハ(ト)カ云。其弓ハ桑柳ヲ

3ウ

作也。張ハ三尺六寸、木ノ枝ニ雀ノユイ付テ間九杖(弓偏に丈)ニ構エ広縁ナトニテ射間此弓楊貴妃ヨ(レ)カ始小弓ナレハ云尔歟。絃ハ琴ノ絃ヲカケ弓ハ両端ニ角ヲツカイタヨノトスル也。又一義、射時不レテ立テ膝ヲ立テ弓ヲ目通ニ楊射故ニ楊弓ト云云。楊ハアケルト讀ム也。

雀^{トハ}弓^ノ法^ニニコアテトヨム。何^ニテモアレ小アキ^(テカ)ヲ立^テ射^ル也。夫^レ羿^カ三十二^ノタ、ウガミ様^ノ中^ニ小アテ^ノ弓^ト云有^ト云。

笠懸^{トハ}大弓^ヲ以^テ馬上^ニ射^ル。的^ハ皮^ヲ以^テシヤフサメナト^ノ如^クシテ射^ルト云。

馬場^ハ二町^ニツクリ正中^ニ溝^ヲホリ通^{シテ}上^ニ下^ニ馬^ノ折^(打カ)入^ノミゾヲホル。是^ヲ足^{アセリ}入^ト云。アセリ^ノナリハミスミ也。的^ハ正中^ニ山^ヲツイテカクル也。是^ハ昔^シ頼朝[、]伏^(佐カ)竹^ノ官者^ヲ对治^シ鎌倉^ハ帰陣^有時上野^ノ国^或野^ニ万民^見物^ス。其中^{ヨリ}着笠^ヲ一^ツ風空^ニ吹^キ拳[、]木末^ニカ[、]ル。誰[、]弓器^用ノ人^是ヲ射^{ヨト}有^シ時小笠原^殿取^レ射^玉フ也。帰陣^有テ其^後国^モ目^出カ^リケ^レハ其^時分^ヲ例^トシテ八^幡ニテ御^興行^{アリ}。初^ニハ笠^ヲカケ^後ハ的^ヲコシラエ遊^ス也。出立^ハ烏帽子^直垂^{ニテ}尽^ニ曲^節ヲ射^ル也。図^{如此}一。⁽図⁾又^仁王^ノ始[、]神武^天皇^ヲ御宇^ニ筑紫^ノ箱崎^{ニテ}カ[、]ル弓^ヲ稽古^シ玉^ヲ事^{アリ}。是^異国^夷对^治セン^為也云。



小串^ノ会^{トハ}紙^ヲ四^ツニタ[、]ミテ六寸^ノ串^ニ挿^ム。遠^近八^家ニ依^テ定^ル也。图^{如此}。图⁽图⁾如此^三スルモアリ。又一^ツシテ^ニ三^ツ生物^ヲ書^モアリ。次^第ニカ^リイ^ノコウサギ^ヲ書^也。



草鹿^{トハ}ワラ、チカヤナト^{ニテ}生物^ノ形^ヲ作^リ足^ハ無^ラ頸^ヲアツ^チノ方^ハ向^ケ尻^ヲ射^手ノ方^ハス^ル也。此

4才

草鹿トハ 頼朝富士ノ卷狩ナスヘキ稽古ノ為ニ草深クシテ鹿ノ足不見ニ如クニドウト頭ヲ計リノ様ニ作ル也。歌道ニハ 是ヲカイケイ 芥鷄(見せ消ち) タ、カワシト。又公家ニハ 君達態ト云。 図如此。 (図)

(図)



円物遊トハ 的マリノ如シ。上ニ 一尺二寸中ハ九寸下ハ七寸也。アツチハ七杖也。去者近物ヲ円物長ト云ト云、此意也。旧抄ノ之ニ 図云、中ハ的也。三方ハ ツルト也。夫レ天子ノ一丈二尺、公家ハ一丈、諸大夫ハ八尺ノ的也。 図如此。 (図)

(図)



三々ノ手夾トハ 弓一張ニ矢ニ手持、其内ヲ 一ツツハ箭台ニ立テ残ルニ手ニ持テ三度ニ射レハ三々九度ナル故云尔也。八ノトハ 八町八処ニ 的ヲ立。謂ク一ツツハサゲ針ニハ扇三ニハ紙半四ニハ柳ノ葉五ニハタ、ウ紙六ニハ花房七ニハ鼻紙八ニハカナカケ也。色々ノ曲節ヲ 射レハ曲節ト云也。是ハ人間ノ八苦ヲ 表シテ射破心也。弓矢ハ即チ智慧ノ表示也。

経営トハ 常ニイトナムト誦也。日々是ヲ イトナムト也。去者毛詩ニハ 經營ノ 一矣。尋常ノ射手トハ ヨノツネト誦。唐ニハ 只ツネノ義也。我朝ニハ 勝レタルヲ云也。

馳挽トハ 馬ト 弓ト達者ノ人也。

誘引トハ サソヒヒク、コシラヘヒクトモ、イサヨフトモ誦ム也。

腐毫トハ 筆ノ異名也。クチ筆ニテ 書尽スニト不及也。卑下ノ詞也。惣シテ 筆ニ品多シ。菟筆トハ ウノ毛也。麕筆トハ 木

ノ皮^カミククタキタルヲ云。天竺ニ毛恋士ト云者結始^ト云。又文殊ノ無明指^ヲ形取^ルト云。

恐惶書ノコト、位高^キ人ニハ表書、先^ツ誰人^{ヘト}謹上^{カキテ}我名乗^ヲ書。我^{ヨリ}下ノ人ニハ恐々謹言^ト書。我^{ヨリ}上ノ人ニハ

正月ノ通^{ヨリ}一字上^{ケテ}書^キ同輩^{ニハ}双^テ書^キ

4ウ

下ノ人^{ニハ}正月^{ヨリ}一字サケテ書也。敬白書ハ謹言^{ヨリ}上^ル也。名判^ヲ貴人ノ方^{ヘハ}日付ノ右^エ書^キ卑方^{ヘハ}左^ヘ

(書^カ)^キ同輩^{ニハ}下^ニ墨^ヲクロク書。真^ニ書^{クハ}上^リ也。姓^ノ上^ニ官^ヲ書^ハ系^(系^カ)凶^ノ心也。此書^{ニハ}一部始終官

受領氏計書^テ名乗^ヲ不^レ書也。心^ハ官受領^ハ作者^ノ詞^迄迄^{ニシテ}実人^ヲ定^ル義無^故也^云

正月六日状

改^トハアラタム^トヨム也。

目^出トハ昔天神七代ノ終^リ伊弉諾伊弉冉尊一女三男^ヲ生^ミ給。日神月神蛭子素盞烏是也。謂^ク日神^ハ天照太

神、月神^ハ紀州日前宮月弓尊、蛭子^ハ摂州西ノ宮、素盞烏^ハ雲州大社是也。而^ニ第一ノ天照大神嫡女^ニ御

座^ス故^日神^ト成^リアマテル (大^カ) 神^ニテ天下^ヲ守護^シ玉^フ也。第三ノ男子ノ内ノ素盞烏ノ尊^此ヲソネミ女

神^トシテ天下ノ御計^ヒ不可^ルトキ我^レ守護^{セント}ノ玉^フ。尔間神明天ノ岩戸^ヘ引籠^給ヘ^ハ天下黒闇^{トナル}コト七

日七夜也。此時諸神岩戸ノ前^ニテ色々ノ神遊^ヲ作^シ給^フ。依^レ之神明^(カ)面白^ク思^召シ岩戸^ヲ少^シ開^キ御覽^{アル}。

其^ノ目^ノ光^リ出^見テ諸神喜^ヒ玉^フテ目^出ト云玉^フ間^是ヨリ始^詞也。其^ノ時^太刀雄ノ尊^岩取^テ虚空^ヘ投^玉ヘ^ハ天下

明也。其^ノ戸^{信濃}國^ニ納^レ戸^陰ノ明神^ト崇^メ奉^是也。太^刀雄ノ尊^ハ常^州佐^竹志^津ノ宮^明神^是也。

加幸^{トハ}ヨロコビ幸^{トヨム}。

青陽^{トハ}春ノ異名也。心^ハ陽氣東ヨリ發動シ東風ニ万物千草^モアラミモエ出^{レハ}云尔也。

堅凍^{トハ}氷^リアツクトチテイタク寒

5才

ケレハ也。

珍重^{トハ}目出度^キ事イヨ^クカサナル^義也。

薄霞^{トハ}叡山ノ酒伝三位^ト云人ノ事也。心^ハ只春立^{ヨリ}八陽氣^ヲ受^テ氷解^テ霞^ミ立^{ツト}也。去者俊成ノ卿ノ立春ノ歌ニ

アラタマノ年ノ三年セヲ待ワヒテ今日イクカサテ新枕セントヨメリ。

可促^{トハ}伴仕^{ヲトハ}遂^ニ拝顔^ヲ奉公^{可レ}致事^ヲ可促^{トハ}処^ト云義也。

故障^{トハ}ユエナクヒマ^タサユル義候也。

不慮^{トハ}思外也。

百手^{トハ}的^ハノ中^ニ墨^ニテ輪^ヲ三ツマワシ 鬼ノ目^ト心^{アテ}弓^ヲ太郎弓次郎^トテ二人^{シテ}矢数百手射ル故^ニ云尔。昔^シ

唐^ノ三皇ノ御代皇帝ノ臣^下ニ蚩友^ト云者ノ謀反シ南山ニ楯籠ル。彼^ヲ殺^ン為^ニ先^的的^ヲ五尺八寸ニ張^リ中^ニ輪^ヲマワシ

彼^カ眼^ト心得、二人ノ射手^ニ稽古^{サスル}也。蚩友^カ身^ハ皆鉄^ニ目^ト足^ト裏計^リ常^ノ人也。彼^ノ居^処南山^ト云

へ八蚩友^カ居^処セムル心^ニテ南山^ト書^テアツチトヨム也。我朝^ニ八諸侍^クリ袴^ヲ着^テ烏帽子^ニ正月六日

内裏^ニテ卅三人立^テ矢^ツホ^ヲ指^{シテ}一宛射^ヲ達者^ト申也。是^ハ鬼神調伏^ノ弓也。

究竟^ノ上手^{トハ}キワメテ上手也。

一 両輩トハ弓太郎次郎カ如クノ者ヲ同道セヨト也。

暮目トハ天竺ニ黒塚山ト云山ニ八田鬼ト云アリ。夜々ニ里ニ出テ人ヲ取ル。彼カ通ル道ニ江南ト云潭アリ。是ニ旧齒婁ト

云暮アリ。大キサ大象ノ如シ。其カ鳴声ヲソロシク目ノ光リ日光ノ如ク也。彼ヲチテ不通。故ニ其学テ桐ナトニテ

長サ一尺ニ寸マワリ八寸計ニヒキ目ヲ作リ内

5ウ

裏ナトニテ犬ヲ遊スカ。矢也。是祈禱ノ為也。

一種一瓶トハ一種ハ肴也。一瓶ハエイシ一宛ト也。此瓶、東山殿ヨリ用ルコト也。

衆中ノ課役トハ課ハヲウスルトモ、ツトムトモヨメリ。酒肴持寄(見せ消ち)役ヲツトムル義也。

賭引手物トハ太刀、刀ナトヲ積ミ物ニシテ上手ノ射手ニ取ラスル也。是の取持亭主ノ馳走也。又異本ニハ、カ

ケモノハ射手ニ出ス義、引手物ハ各々ノ衆ニ出ス義ト也。

可得御意ヲトハ已上ノ賭引手物ナトノ様、貴所ノ意見ヲ蒙ルヘシト也。

物忿トハモノイソカワシキマ、御意ヲ不受ト云義也。

一二トハツマヒラカト誦。心口ハ委細ニ一二三四五等ト次第シテ不用云 (義カ) 也。

面謁トハ謁ハイタルトモ、マイルトモ誦。面拝シテ可申也。

二月廿三日文

遺恨トハノコル浦見、山ノ如ト也。

散意霧ト胸中ノ思ノキリ、イツハレンヤト云義也。

併トハ兔ニ角ニト云心也。

隔胡越ト大唐胡国越ノ国両国間達遷原ト又黒川鏡ト云河アリ。遠サ七百里也。如此其方ト我等カ間隔テ遠サ

カルコト似リト云。又胡越ハ常ニ諍ラ（脱字有るカ）国也。付之ニ物語アリ。胡国ノ王ヲハ吳皇房ト申。越ノ国ノ

王ヲハ桂竜王ト申。越ノ国ヨリ或時百万騎ヲ率シテ胡国ヲ責メ入ル。胡国ノ堺ニ会稽山ノ麓達遷カ原ニテノ合戦十二年ニ

及ヘリ。越王、終ニ切マケ既ニ桂竜王ヲイケ取、土穴ニコメケリ。去者大唐ノ習ニテ人ヲ率ルニ殺スコトナシ。

縦（カヒ）敵ナレトモ国ニアレハ一度用立ツコトアリトテ籠者スル也。

6才

或時籠ヲ忍テ大河ニ身ヲ投ント思ヒ河ノ辺ニ立テ寄セ玉ヘ八河上ヨリ札一ツ流来ル也。取上ケ見玉ヘ臣下範レイカ

手ニテ命露_レハ_レシテ易シテ消ヘ求ントスレハ_レ難シ。唯_レ命ヲ全_レフシテ再_レ參洛ヲ詠_レヨ_レト云文ヲ載_レリ。御覽有テ自害ヲ留_レリ又本ノ

土籠ヘ入玉フ。彼ノ範レイト云者ノ胡国ヘ向ヒ玉時色々留申トモ用玉ハス。此ノ時範一國滅亡也トテ太泉山ト

云処ニ引籠_レリ日ヲ送_レリ君ノ行末ヲ嘆ケリ。或時胡王、俄ニ石麻（病垂に瘳）ヲ煩_レヒ給ニ色々薬ヲ服セシトモ終ニナ

ヲラス。或時薬師申ケル様ハ帝_ハ尿_ヲ誰人_ト也トモ味（西偏に甘カ、以下同）玉ヘハカ、其レニ随テ薬ヲ与

申スヘシト云。然_レトモ誰人モ味_ト云人無_シ。桂竜王、是_レ聞_キ我_レ味_ト言_フニ依_テ義_ニ随_ヒテ尿ヲ試_ミ玉ヘハ薬ヲ与_ヘ胡王ノ

病治シケル間王此喜ヒノ余_リ桂竜王本国ヘ帰_シ申サントテ公卿大臣ヲ調_ヘ越国_ニ奉_レレ送_リ時範一又出_テ国ノ

政_リコトヲ申也。其後、配立_シ胡国_ヲ責_テ会稽山麓達遷_カ原_ヲシテ又胡王_ヲ虜_ニ奉_レ会稽山_ノ雪_ノ上_ニテ恥辱_ラス、キ

給_ヘハ雪_ト云字_ヲ恥_ラキヨムト誦_ム也。彼ノ山_ニハ常住雪有_ル山ナレハ云尔也。其後、範麗_ノ胡国_ノ將軍ト成シカ又

末代ニ浅猿キコト有シヲ知テ我カ名ヲ漁夫ト替ヘテ五胡ノ遠島ニ釣ラ垂レ身命ヲ送ス。是、偏ニ名ト酬ミ身退クハ天ノ道也ト云、此心也。

醍醐ハ山階シナノ、雲林院ハ京ニアリ。或人ハウ林院トヨメリ。是レハ何レモ在所ノ名、梅ノ道地也。彼ノ雲林院ニハ昔ハ忘憂ハウユウ（左に「ハスルユタカ」と傍訓）花合ケカウ歡按ト云名花アリ。京九重ニ渡レリ。其ヲ盛ント云也。已上ノ花ノ三ツノ名ハ

6ウ

御門ヨリノ宣旨也。文字ノ義ヲ取テ可知也。

嵯峨トハ西ノ岡也。

吉野トハ大和国也。書ヲヨム時ハ吉野トヨミ切テ山桜トヨムヘキ也云。

難黙止トハ如此盛ナル花ヲ不シテ見ムサトトハ難レト有也。

此節トハ此時也。

徒然トハツレト誦ハ物スマキ体也。

光陰トハ昼夜十二時ヲ送ル義也。二字如次。日光ニ配ラ可知也。

好士トハ歌道風流ノ達者也。好ハヨキ、士ハヒト、ヨメリ。

諸家トハ諸公卿武家也。

狂人トハ花ニ見入、詩歌ウソムクノ嘯体ハ只々狂人ナトノ如ク也。如此人雲霞ノ如多トナリ。去者俊成ノ卿ノ歌ニ花盛リ

四方ノ山辺ニアクカレテ春ハ心ノ身ニソワ又哉集千歌

乗物トハ輿車也。

僮僕トハ供ノ者也。ツカイ者トヨム也。

合期トハ難レ叶也。

近隣トハ家ノ近キトナリ。惣シテ家五ツラ隣ト云。隣五ツラ里ト云也。

歩行ノ義トハ裏レ頭ナトシテカチニテ行ケハ也。

左道トハ略義ノ心也。心ハ月見花見ナトハイカニモ衣装ヲ結構シテ見ルコト本義也。然ハ順路ナレハ是ニ對シテ見苦キ体ヲ左道ト云也。

連歌トハウタヲツラヌトヨム。常ノ三十一字ニ非ス。一折リ歟、或ハ歌山ト云テ三十六句又ハ四十四句五十韻百韻千句万句等也。惣シテ仁王六十二代村上ノ天皇始テ遊ス也。小夜更テハヤネムウモナリニケリ。是ニ重ケ野ノ大臣ト云人付玉ヲ。夢ニ相フヘキ人ヤ待ラント。

又宗匠トハ連歌ノ師也。座ヲカラクル人ノコト也。是ヨリ詩聯句ノ詠迄ハ次ノ文ニ聞エヘキ也。

破籠トハ肴人物也。

小竹筒トハ酒入物也。

フ才

隨身トハ自ラ是ヨリ持参スヘシト也。

硯懷紙トハ月見花見ナトニハ其処ニテ詩歌ヲヨミ、タン柵(マ)ヲ書ケハ薄様ナト懷中セシニ依テ如此云也。書誦時如何トヨミ切テ心底読ヘキ也。

二月廿三日ノ文 返状

花鳥風月トハ皆前ノ好士ノ学ヒソト云義也。

管絃トハ八吹物、絃ハ彈指物也。琴ノコトチト云テツルニハリ木ヲ立テ糸ヲシメ拳テ引也。

嘉例トハ恒例也。

延年トハタ々ヲノフルトヨム也。或人ヲ博士、三日ノ内ニ必ス死ヘシト占フ也。彼人、尔者思出ラスヘシトテ猿

樂ヲサセ見物シテ既ニ命延ニケリ。半年計シテ博士申様、貴方ノ命延ルコト不審也。如何様ノ事ヲメサレ候耶ト問ヘハ

猿樂サセテ見物スルヨリ外ニ何事ヲモ不仕申ス也。サテコソ猿樂ヲ延年ト申子細ナレト云。

方トハ法度義也。

相叶トハ加様ノ興行ハ神明仏陀モ納受シ玉フ義也。

叢林トハ近山ノ事也。草木等慥ニ見ユル山ト云心也。

慕(暴カ)風トハ俄カノ風也。

霖雨トハ長カ雨也。

和歌トハ神代ニハ蓋ニハ蓋ニハ鳥ノ歌(歌に「ウタ」と傍訓八雲立ツ出雲八重垣妻コメテ八重垣造ル其八重垣ヲ又仁王

八十代仁徳天王ノ歌ニ難波津ニ咲ヤ此花冬コモリ今ヲ春ヘト咲ヤ此花トヨメリ。是ヲ歌ノ父母ト申也。

人丸トハ仁王四十一代持統天王ノ御宇ノ人也。所生色々申トモ先下野宇都ノ宮本説トス。明神ノ社旦ノ前柿木廿

一年宛自然ト生ヘ替ルコトアリ。是ヲ由ニ柿本ノ人丸ト申也。

赤人ト申モ同時ノ人也。山辺ノ

フウ

御人也。惣シテ山辺ト云処所々ニアリ。京モ越前モ近江モ筑紫モアリ。何レヲ本説トスヘキヤ不レ知ラ也。古風トハイニシエヲ形取ル義也。春風古今吟スレハ昔今不替ト云心也。

長歌トウケ(チカ)ワタスヲチコチ人ニ物ノマウサウソモソノソコニ白ウサケル花ハ何ニ花ゾソモ又カイナウソロシヨコ雲ヲホシメシソロワハミナ。如此ニ云也。

短歌トハ宗祇ノ作ニ見ルカラニ誰モ心ヲ煩スハ形余リニ勝レネット心ヤサシクナト、云テ切レタツ、キタルヲ云也。加様ニイカ程モツ、ケ行也。

旋頭トハ題ヲ其任、首ヲ置クト云義モアリ。人丸ノ御詠歌ニ云、ホノノトアカシノ浦乃朝霧ニ鳥陰レ行ク舟ヲシソ思。又是ヲ旋頭ノ歌ト申。此歌ノ心愁傷之歌大事ノ習アリ。

混本トハ上ノ句ノ首ト下句ノ首ト題ヲニシテ置クト云。歌ニ朝サカオノ夕影マタス散リヤスキ花ノユウガレ哀レトゾ見ルナト、ヨメリ。

折句トハカ(ラカ)衣キツ、馴レニシツマシアレハへ(ハカ)ルノキヌル旅ヲシゾ思フト。五七六七ハツ、ケリ。一句々々ニ理ヲ云キレノナルヲ折句ト云也。

脊冠トハ五七七七ト上ニ二ハヲトコスナ下ニハメモクセシ、夫婦契リノ歌也。ヲシハヤメトマヤノ舟モコカレユクスマノ浦風波モヒマナシ。

又輪廻トハ上ヨリ下ヨリ又下ヨリ上ヨム也。ナガキ夜トヲネフリノミナメサメナミモ(左にも「ヒ」

見せ消ち) ノリ(カ) (左右に「ヒ」見せ消ち) フネノヲトノヨキカナトヨメリ。又云、キシヒコソマツガミキ

8才

ワニコトノネトコニハキミガツマゾコイ(左にも「ヒ」見せ消ち) シキトヨム。是等輪廻ノ手本也。

傍題トハ 心ナキ年ニモアルカナ廿日アマリ晦日ト云ニ春ハ暮レヌルト。此歌ハ三月尽ノ歌ノ題ニ合セ見ルヘシ。打越トハ 君カヨノ久カルヘキタメシニハカネテソ植シ住吉ノ松。当分ヲ指置テ未来ヲヨメハ云尔也。

落題トハ サヲ鹿ノ野原ヲ走ルニハモ、四ツタニモカクレサリケリ。此和泉式部カ桃四ツト云題ヲ尔ヨム也。桃ヲ鹿ノモ、ニヨムコト、落第也。

詩トハ 白楽カ詩ニ青苔似テ衣ニ岩尾ノ肩ニ懸レリトヨム。歌ハ此心ヲ住吉ノ明神苔衣キタル岩尾ハサモアラテキ又々山ノヲヒラスル哉ト遊ス也。

菅家トハ 天神ノ流レ。菅原氏也。

江家トハ 大江ノ千里。又江家トハ 江家ノ先祖ハ吉備大臣也。此人ハ日本ノ儒道者也。日本ノ儒道ハ此ヨリ始也。

序トハ 一切ノ詩歌ニハシ書トテスル者也。

表トハ 物ノ本制作スルニ 先天子ヘ奏聞申状ヲ云也。又物ノ本ノウワ書トモ云也。付之定家々隆ノ二様アリ。中ト端トノ習アリ。

賦題トハ 連歌ニハフシ物ノコト。詩ニモ句ニ依テ賦ト云コトアリ。

傍絶韻声トハ 何モ詩ニ入コトトモ也。

猿猴トハ如次。メサルヲサル也。就中、藤(淵カ)ニ住者也ト云。天竺ノ物也。心ハ(セカ)今、我等モ人ニ似ニタル迄也。能無ト云心也。

蛩トハ惣シテ余ノ虫ハ水(火カ)ヲ見テヨル也。蛩ハ己カ火ヲ持ッ故ニ灯ヲハソネムデヨラサルカ如ク我レ等トモ如此ト云。

8ウ

殆トハ近也。チカキ程ニト云心也。

賦物トハ賦何路木舟人ト書キ山ト云字計ヲハ山何ト書ク。余ハ何ノ字ノ下書也。是五ヶ賦物義也。小賦物ハ賦ノ下

山ト云字ノ如ク書也。

未練トハ煅練タシレシナキ事也。百度学ヒテ煅ト云也。千度学テ練ト云也。只人ハ稽古セヨ也。

聊トハソツト也。

稽古トハイニシエヲカンカウルトヨム。

惣忙トハイソカシクマキレト云也。物トハマキル、コト多ト云也。

毛拳トハ筆ノ事也。隙無キ依テ筆ニモ寸ノイトマヲ不得ト云心也。

二(三三カ)月七日ノ文

祝言トハ三月迄ヲソナワル義也。尔トモ逐日当春ノ御賀目出度候也。

家門トハ家ノ子一門也。

参賀^{トハ} 御喜也。

神妙^{トハ} 心底タエナル義ニシテ快也。^{コハロヨキ}

四至^{トハ} 四方也。

勝尔^{トハ} 勝ハフタ也。地ノ境イ目ニ勝ヲ指シ岩ナトヲ埋ヨト云心也。

阡陌^{トハ} 如次。大ナワテ小ナワテ則チ東西南北ノ事也。

混^{トハ} 合也。地ノ境ノ乱ヲ諍義也。

精簾^{トハ} 委ク角^ミスミヲヤリテ事ヲキヨクセヨト也。

沙汰^{トハ} イサコヲユルトヨム。文選ニ云、沙汰得^レ金^ヲ。又大小廉細ノ義理ヲ委クエラブル心也。

椀飯^{トハ} 地下人^ガ公方人^ヲモテナス云也。又正月公方ニテ諸大名ニ飯ヲ参^セ我等^モ御前^テ給^フ云也。又公卿ノ

膳^ハ椀、々飯^ハ武家^ニ云。是^ハ一段結構ナル間送り膳^ニシ小飯^ヲ別^ニ備^ル是^ヲ給^ル也。

地下目録^{トハ} 所領^ニ伝^リタル

9才

文書也。

目^{トハ}古^{ヘハ}紙無間竹ナトヲ編^ム間^アミ目也。録^ハシルス也。

取帳^{トハ} 田地^ヲ験^ス帳也。

文書^{トハ} 同^ク引付。

济例^{トハ} 恒例也。又济^ニナス^ト云訓アリ。心^ハ地下人^ノナニツケタル例也。

納法トハ年貢ヲ云也。

可被召進トハ前代ノ引付ヲ百姓ニ召進スヘキト也。

容隱トハマカリ出テ可レ仕ニ所常ニナレトモ我カハ少シキナト、テ公方ヘモ罷出サル物ヲ云也。

隱田族 田畠年貢ヲ売買処ノ五百ナト、云テ掠メ申間彼ノ罪科ヲ糺テト云。

交名トハ校也。悪名ヲ探テ可注進スト也。

東作トハ春作始ニシテ秋取レハ也。東トハ春ヲ云也。

兼トハカネテウラナウ也。

水旱トハ洪水大ヒテリノ義也。

腴コエ(更に之繞) 迫トハ如次。肥地コエ、乾地カワク也。

招(カ)(上書き) 居トハ (マネカ) ナ(キカ) スエ也。

開発トハヒラキヲコストヨム。久ク荒タル処ヲ作ル義也。

役トハ骨ヤミトヨム也。

修固トハツクロヒカコムト云心也。

細(佃カ)(佃カ)トハ公方ノ田ヲ百姓トシテ作リタテ進ル義也。

御正作トハ我レト分ケアテ、作ヲ云也。夫レ天竺三禹(カ)農ト云人、田ヲ作リ始ル也。又毘沙門作リ始給フト申。多

門天王城ヲ味戸羅摩耶城トシ、毎日白米ノフル都也。殊ニ田多シ。又田神ヲハ新烈ト奉レ申。此本地毘沙門ニテ

座也。又米ヲ菩薩ト名付ル事種子ノ時ハ文殊菩薩、苗ノ時ハ地藏菩薩、稻ノ時ハ虚空蔵菩薩、穂ニ成ル時ハ普賢

菩薩、飯ノ時ハ觀音菩薩、惣体ハヒサ門ト申也。米ハ又古仏ノ御舍利。日カ本ヘ渡ルコト稻荷ノ明神始テ渡シ申也。
カラスキ 犁トハ馬牛ニ田ヲカエス物也。是ハ唐ノ

9ウ

高風ト云シ者、(仕カ)出ス也。

粳トハサクシトヨム。

糯トハネハシトヨム。

西收期トハ秋ヲサムレハ也。春ノ東作業ニ対スル也

苧穎トハ少カリハメシ(ハシメカ)也。

春トハウスツクトヨム。又焼米ノ事トモ云也。

蕎麦ソバ小豆等迄モ吉ヲ既得ト云也。

畑トハ山野草木ヲ切テ燒キテ肥テ粟稗ヲ作ラ云也。是地ノ三年ニナルヲ山畠ト云也。其後年貢ヲ納ル也。

乾トハカワクトヨメリ。

熟ハウルヲウトヨメリ。

桑代トハ畠中ノ桑ヲ立ルヲ代ヲ公方ヘ奉ルヲ云也。

地子トハ屋敷ノ年貢ヲ取ラ云也。

実検トハマコトニシルストヨム也。

敢トハカマエタル詞也。心ハカマイテ以テト云義也。

依怙トハ物ヲ憲法ニシ自由ニ我カ依怙ヲ申ヘカラスト也。

御館トハ公方ノ家ノ事也。

棟門トハムネヲ立テ公家門ノ戚カト也。

唐門トハ唐様ノ門也。柱ヲマロク唐居敷クロクシテ柱ノ上ニ組物ヲスル也。

平門トハ上ニ横木ヲ一本渡タルヲ云也。

上土門トハ両方ヨリ土ヲ以テ塗リアゲタルヲ云也。

薬医門トハ左右ニ柱ヲ立テ上ヲ重ク葺也。地伏ノ木ニ銅ヲ吞セ埋ミ扉ヲ無キ也。其ノ故ハイ者ノ処ハ人ノ往來スルコト

市ヲ成スガ如ク夜ルモ不レ閉故也。武家ニモ是ヲ学テ立ル也。

寢殿トハ家主ノ臥シ処也。

アツカヤ葺トハ風雨霜雪ヲ能ク凌カン為ニアツ葺。是廊中門渡殿何レモツクリアル家也。

(御カ) 厩又如此也。

囲炉裏之間トハ客殿作リ二八無キ也。別ニ焚火ノ間ヲアル也。

学文所トハ家ヲ別ニ造リ朝夕学ナトスル也。大唐ニハ五経ヲ学スル也。一経ヲ三年

10才

宛ニ十五年学スル也。去レハ小倉ノ将監カ歌ニヨミ書ノ殊更ラ入ルハ弓矢取リ急度廻テ急度注シテ進ム。

又公文所トハ銭ヲナト算用スル処也。

政所トハ米銭収ル処也。

膳所トハ配膳屋ト云テ器具置ク処也。

贄殿トハ魚鳥断ル所也。

局トハ女房衆常ニ住ム処也。

部屋トハ亭主ノ女房ノ休ミ所也。

四阿トハヒサシノ様ニムネヲ立テ、葺キ四方ニ壁無也。材木ナト置処也。

棧敷トハ見物ノ間ノ事也。サン敷トモ又サツ敷トモヨム也。

捷兎トハ中間衆置所也。又ヒソカノ公事ナト談合スル処也。又陰密ノ客人ナトアツカウ所也。或説ニ

八産屋ト見タリ。此義宜キ歟。

笠懸庭トハ的ノ庭ノ事。必ス南面ト云事、其ノ館ノ方角ニヨルヘシ。必ス南面ト云ハ朝射ル物ナル故ヒルヨリ前

南ハ陽ノ方ナレハ日ヲ請ケテ射故也。的山トツカシム也。

蹴鞠トハマリノ庭也。四本懸リニ柳松桜楓也。

東面トハ蹴鞠暮ヲ本トスル故日影家ノ西ニ廻レハ家ノ陰ヲ用テ云尔也。惣シテ鞠ノ人数ハ十二人。蹴テ八人鞠取リ一

人棹持一人検見一人カストリ一人、都合十二人也。夫昔シテ天竺ニ一ツノ大外道アリ。曇王ト云。是ヲ番胡大

王退治シ彼首ヲ取テ鞠ト名テ八人ノ童子テ蹴サスル也。此ヲ学フ故ニ日本テモ用ル事最モ祈禱第一也。

四本懸リハ伊勢春日八幡住吉ノ勸請ノ木也。

泉水トハ水有ル庭ニシテ

10ウ

山水ノ庭ト云也。水（無カ）レハ只、庭ト云也。滝頭トハ北ニ構ル也。水ハ北カエ方ナレハ也。惣シテ庭ニハ桜梅桃李ヲハ東ニ植ル也。常葉ナル木ヲハ北ニ植ル也。但シ庭体ニヨルヘキ也。遣水トハ水口エ出ス也。

禁忌トハイマワシキ義無様ニ相計ヘシト云。

客殿トハ必ス出家ノ々ニ不可為ル。俗所ニモ云ト見タリ。

持仏堂トハ先亡ノ位牌処也。

礼堂トハ看經処也。

庵室トハ歸依僧ヲ置也。

休_ミ所トハ常ニ遊戯スル処也。涼_シ処ノ事也。大唐ニハ高楼ト云也。タカク作也。城ノ四方ニアリ。東ヲハ陽楼ト云。花見ノ楼也。南ヲハ南楼ト云。去者朗詠ニ南楼ノ月ノ下ニハ寒衣ヲ擣トアリ。西ハ々楼ト云。月ヲ詠ム。是ヲ西楼ノ月落ツナト、云心也。北ヲハ陰楼ト云ヘリ。雪見楼ト云也。日本テハ朕_チト云也。

土蔵トハ財宝ヲ納ル也。

文庫トハ文書ナト納也。是ヲハマワリナトヲ板ニテスル也。

後苑樹木トハ家ノウシロノ樹木也。

怠慢トハ上ヨリ仰ラアナツルコト無ク又ヘリクタラヌ様ニト也。

勤仕トハツトメシム義也。

忠賞トハ讚ル詞也。玄番允政所殿へ如此忠賞セラルヘシト告ケ申也。

三月十三日

等閑トハナヲサリト読ム。心ハ彼等与レ我等クシテ余義アルヘカラスト也。

御下文トハ將軍ヨリ書ヲ被下也。

御教書ト云ハ官領ノ義ヲ受ケ長尾殿ナトノカ、ル、状也。官領トハ武衛畠山細川ノ三人也。昔シハ御教書ヲ公方ノ

御書ト申タリシカ今此ハ官領ニ定テ御書ヲ下ト申也。御奉書トハ公方様ノ申也。官領ヨリ政所ヘト云状ヲ御教書ト云也。惣シテ官領ト云ハ京方ニハ已上ニ云ニ官領也。

11才

鎌倉ニハ山ノ内殿上相殿。

嚴重トハマキレ無義也。

使節トハアラ使也。始タル処ヘ入部スルニ百姓ナト不用事アレハツカ（見せ消ち）ヒヲ付ルヲ云也。

遵行トハシタガイヲコナウト訓也。

末（吉カ）書トハ入部ノ始ニ民ニ百姓ニ書出タサスルヲ云也。或地頭ヨリ書渡歟。

良辰トハ辰ノ時ヲ云也。朝ノ日ノ出ル時分ノ吉キ日（ヨカ）撰テト也。

紛失トハマキレ出スル也。

失墜トハツイエウシナウ義也。

錯乱トハマチエミタルト訓ス。心ハカクミタル義ニシテ是ヨリ公事起リ始ル也。

構^エ申^トハ巧^レ云有^ル事ナト^ト無^ト云義也。

土貢^トハ其土々々ニ土産^ヲ奉^ル云也。

年貢^トハ年ノ乾熟^ニ随^テ錢^ヲ奉^ル云也。

尋搜^トハ無沙汰ノ方^ヲ委^ク聞^テノ義也。

員数^トハトモニカズ也。

虹梁^トハ大^キナル木^ヲ横渡^也。虹^ハニジト訓。暮^ノイキナレハ学^テ之家^ニハ火^ヲイム者ナレハ水辺虫^ノイキヲ用也。火調伏^ノ心也。

唐居敷、門ノ左右ノ柱ノ根^ニ敷板也。

鼠走^トハ桁^{ヨリ}屋中^ヘ伝タリケル物^ヲ云也。

雲肱木^トハ雲^ノ形也。是又雨類ナレハ用也。

暮俣^トハ閣^前^ノ横渡^ル木^ニ暮^ノ手^ヲハタケル如^クニシテ中^ニ削^リ物^ヲスル也。

鴨居^トハ水鳥ナレハ云尔也。

敷居^モ鴨^トニ云字^吉云。

垂木^トハ斬^ハ軒^カノ霏^ノタルト云義。何レモ水辺ノ「」（見せ消ち）物ナレハ戸^{シテ}道具^ニ用^ル。戸^ハ物^ヲ

防者ナレハ如此。又火伏^ノ心也。

破風、関板^トハ大風^ヲ防^ク故云尔也。

飛縁^トハ本間^{ヨリ}サケテハル縁也。

短柱トハ 簀ノ 下柱也。

唐垣トハ (圖) 圖如。

(圖)



相障子トハ 障子 (二字見せ消ち) トハ 半分カウシ下ヲ ハ (板カ) ニスルヲ云也。今ハ 是ヲ 腰ノ 障子ト 云是也。

連子トハ 小波コナミ 学ヲ タル物也。連子ノ 字ヲ

11ウ

漣ズ 滋シ 如此 (「書テ」カ) 吉シト 云。

部トハ 々ト 上ニ シ トミ草ヲ 紋ニ スル故カ 云尔也。

決込トハ 戸板ヲ ツノメニ合ル 云也。

宇立トハ 虹梁ノ 上ニ 立ル 柱也。

扨 (木偏) 首トハ 向フ サス也。(次行との上欄に「天井」「縁フチ」と有り)

棟樋トハ ムネノ 上ニ 横ニ ヲウ木也。是モ 樋ハ 水ヲ 取ル 物ナレハ也。

組押ノ 樽也。

襲ノ 木、檜トハ 曾トハ 作如ク 水長キ 木ヲ 不削也。

足堅トハ 柱ノ 根ニ アル也。

鑷トハ 鋏ノ 様ニ 柄ヲ 指シテ 板ナトワ ル物也。杣取スル 人持也。一説ニ ハハウチヤウノ 様ニ 作リ 刃ヲ 付ケ ス樽分 ル

物也云。

ムクノカミ

木工寮、大工トハ大方、下地異見ヲ云也。

巧匠トハ手足レノ上手ヲ云也。

陰陽ノカミトハ博士ノ事也。

田堵トハ地主也。

士民トハ田作者。

名主トハ其郷（手偏に即）ニイク名トハ百姓独リシテニ名三名持ツ也。

樹 淡トハ柿ノ青キ時ヨリサククトシテシブカラサル物也。

庄官トハ百姓ヨリ外ニ其郷中ニ大ナル者ノ存ヲ云也。

野心トハ譬ヘハ雉子ノ子コカウテ何ニトナツクレトモ野エ行クヘキ心ヲ持ツ如今入部スル地頭ニ不レ隨動ヤハモスレハ先地

頭ノ眞ノ鼻ヲスル百姓ノ心ヲ云ヒ

責伏トハ隨フ心也。

進上書ノ事謹上ヨリ下也。惣シテ我カ親師匠ナトハ伝奏書トテ其ノ内ノ人ヲ書也。侍所ナラハ其ノヲトナノ名、

出家ナラハ其同宿衆ノ内其名ヲ面ニ書テ下ニ御申ト書。其ノ時文ノ上ニ進上ヲ先ツ書云。

披露トハヒラキアラワスト訓。去者文撰ノ表ノ卷ニ忍ヒ奉ル邑人ユウジン（左に「サトヒト」）諸草ノ露テ後

12才

一横ノ文万人知ト。是ヲ云ヘリ。人一向知ラ又事ヲ今始テ諸人ニ知ラスル事。

卯月五日文

案内トハ内ノ事ヲ先ツ見計フ事也。付之ニ王範カカ物語アリ。王範学文ノ為ニ他国へ出ルコト三年也。其間内ノ女房
 夜^ルハ^ニ鎧^ヲ着^テ冠^ヲ着^テ打物ヲ帯シテ王範居タリシ様ニシテ用心ヲスル也。尔^ルニ^ニ王範^{七年居ルトナリ}学文^{シテ}漸ク歸ントスル。百日カ
 間^安思案ト云ニ二字ヲ思惟シ本国ニ歸リケリ。家路ヲ見レハ草深シ。先ツ窓ヨリ内ヲ見レハ鎧冠帯タル者ノアリ。サレ
 ハコソ女房他ノ男^ヲ儲ケタリト思ヒ既ニ内へ入、女房トハ不知ラ害セント思シカ、シバシ我心ニ思案^安ヲ廻シ
 先ツ言^ハハカワシテ後打タント思ヒ汝^チハイカナル者ソト問、此家有主ト答テ打物ノサヤヲハツシテ名乗出ル
 声^ヲ聞ケハ我カ女房也。王範今^{コノ}歸^リ来^レトカ名乗^リ互ニ喜ヒ語テ曰、此間ノ学文ハ只^タ思案^安ノ二字ヲ徳ニ成リケリ
 ト喜ヒケルソト申也。其レヨリシテ、ハ(ウカ)冠^ノ下^ニ女^ノ字^ヲ書^テ安^トヨムト申。女房夜冠^ヲキテ居タルヲ
 思安^{シテ}不^レ殺^故也云。
 不^レ審^トハ不^レ明^ヨメリ。ヲホツカナキ義也。
 興行^トハカ^カ百^ノ廢^一新^ノ義也。
 黎^ト民^ハ庶^ノ民也。万民ノ心也。黎^ハ里也。民^ハ百^ノ姓^等也。
 朝夕ノ煙万トハ万民ノ家々煙厚クユウ／＼ト立^テ富貴ノ相^ニ見ユル
 12ウ
 体也。去者歌云、高^キ屋^ニ登^テ見^レハ煙^リ立^ツ民^ニ烟^トニギワイニケリト。又百姓トハ公家ノ姓^共武家ノ姓八十
 合^テ百^姓ト云也。百姓門等^ハ百^姓門^ノ人多クムラガリ耕作ノ体ニキ／＼シケレハ也。

仁政トハマツリ事吉ニ依テ民モ王法モ目出敷ト也。

賞罰トハホメヲトスト誦メリ。心口吉キヲハホメ悪キヲハイマシムル義也。

嚴重トハマキレナクヘ見タル義。

堪否トハ善悪ノ義。人間ハ一度盛ソレ也。一度ハ衰習アリト能々思フ云也。此心アレハ慈悲忍辱ノ心ソナワル也。

奸直トハカダマシクスナヲナルニ義也。如此善悪シテカ、糾明^{タハシ}ラメ沙汰セヨ。又破邪顯正ノ義也。歸所人ニ思イヨル心也。

寬宥トハユタカニナダムト訓。心口ハ誤シ過アル者也トモユルスヘシト云。

強トハヨミ多シ。アラケナシトモ、ツヨシトモヨメリ。シイテトモヨム。心ハアナカチニ過ラ求メサレト也。侘^(マ)際トハ人ノ過ヲ求シテ(マカ)民ヲイタシムルコト無ケレハ領中静謐之基也。

吹毛トハ過キ去リタル人ノ過誤リナトヲ搜リ出スヲ云也。又科無者ナトヲ過ラ求メスル心也。譬^{ヘハ}鷹ノ其身ノ煩

アレハ毛ヲアラケテ居ル也。其時毛ヲ吹テ其疵ヲ見如ク也。又旧抄云、虎モ長キトラノ毛^{ヤイハ}刃ニカケテ吹テ見

ルニ不レ切処アレハ刀ノ疵ト云。如此百姓ナトノ

13才

過ヲ求サル也。

市町トハ月ニ六度^ヒ(左にも「ヒ」見せ消ち)再ヲ立ツラ市ト云ヒ日々ニ立ツラハ町ト云也。天然ニテ八檀毘尼園トテ

善覺長者ト云人建テ始テ諸々ノ宝ヲ集テ人々ニ買セ富貴セシム。又唐ニハ周ノ国ノ傍ニ半唾ノ市ト云アリ。高風ト云

者立始テ酒ヲ作^{リテ}沽^{ケリ}。彼ノ高風正直第一ニシテ利潤ヲ不^レ取。然ル^ル細々夜^ル人來^テ酒ヲ買。彼カ^カ姿ヲ見^ルニ常ノ人ニ非^ス。顔ノ色紅ニシテ衣裳モ更^ニ人ニ不似。頭ハ男ノ如クシテ^面赤ク酒ヲ飲ム事無限也。高風問曰ク汝チハ何ヨリ來^ルソ名^ハ何ト云ケルソト問^ハ吾レハ大海ノ頭^{ホト}ニ住ム狸々ト云者也。我カ^カ姿ヲ見度シ明日暮程ニ深陽ノ江ニ御座見申^{ント}云テ搔消ス様ニ失テア(ケカ)リ。高風明日暮程ニ深陽ノ江ニ望テ見^ハ海中動揺シ電光ニ似^ル(ニコトカ)光アリ。暫ク有^テ一ノ化生ノ者ノ出現^ル。姿ハ鬼神ニ似^{タリ}。惣体赤キ事丹(左に「アカヲ」と傍訓)ヲ塗^ルカカク大瓶ヲ抱テ浪間ヨリ歩寄^ル。見^ニ之^ヲ瓶ヲ八前ニス置キ酒吞^ミ舞遊^ス。其後此瓶ヲ高風ニ取^セ手ニ持^テ舞ケル篠^ヲモ夕セテ此^ヲ家ノ門ノ辺^ニ立^テ明日ヨリ此瓶^ヲ酒ヲ沽^リ玉トテ狸々海中へ入^リヌ。高風瓶ヲ取^リ家ニ歸^リテ瓶ヲ置^見レハ夜夕ニハ瓶ニ何ニモ無カ^リシガ夜明^テ

13ウ

見^レハ瓶ニタ、エテアリ。是^ヲ沽^ルニ無^シ尽^ルコト。呑^ム人ハ寿命延、齡^ヲ栄、病有者ノ連々ニ愈^ル。天ノ謹(カ) (三水に勤) 麴^ツ云酒是也。竹ノ葉^ヲ酒ハヤシト云、是^{ヨリ}始也。日本ニハ聖德太子大和国三輪ノ郷ニ市ヲ立始玉フ。人々万ノ宝ヲ取出^シ市ト号^シテ正直憲法ニ売買^ス。正直ニシテ精進潔(カ)祭^マ立^ツ者ニハ天子天眼ヲ以^テ見^之ヲ宝ヲアタエ心ケカレタル者ニハ宝売玉ハス也。又市場ニ夷^ヲイワイ奉^ルコト太子西ノ宮ノ御約束也。心^口未世ニハ濁乱ノ故ニ万民監(濫カ)ニシテ酒ニ醉^ナハ刃傷打擲シ狼^ニナルヘキ故市モ退^轉セン、此義無ラン様ニ御守給ヘトテ忝^クモ跡^ヲ市ニ夷ノ三郎殿垂^レ玉フ。面^ヲ曝^シ売買ヲ濟^ヒ助玉フ。是^忝クモ伊諾^并尊ノ御子西ノ宮是也。^{已上市}
由畢

廻^舟トハ舟ノ出入ノ津^ヲ着岸ト云也。又ハ大舟トモ云也。

小路トハ十文字八方ヘアル道ヲ云也。

見(世脱カ) 棚トハ先ツ食物ナトヲ出也。

贄トハ魚肴ノ類也。

鍛冶トハキタイナラストヨメリ。大唐ノ梁ノ代、鍛冶アリ。干将嫫耶(女偏に耶)トテ夫婦也。彼レカ子ヲ僉責云。或時梁王ノ后ノ夢ニ鉄ノ丸シ天ヨリ下テ胎内ニ入ト御覽存テ終ニ金ノ丸カセテ産玉。博士ニ占セ玉ヒケレハ是ヲ以テ劔ヲ打給ヘト申。

14才

臆テ干将ニ勅定ラ成シニ振ノ劔ヲ打セ給トキ(カ)妻ノ嫫耶申様、帝王ノ振奉レ上ケ一振ヲ八我カ胎内ノ子ニ可取。必ス男子可成ト云テ留置ク。或時帝御悩存 事切也。博士占セラル。博士申様、此程作ラセ玉フ劔、王体ヲ奉ニ浦見ニ事アリト申。仍テヨリマシヲ立テ祈付テ彼劔ニ物ヲ云セ玉ヘ八劔付申様、今一振ノ我カ妻ノ劔干将カ処ニ一振アリ。是ヲ召寄セ我ト一処ニ置玉ヘ八弥々帝皇ヲ守護シ奉ルヘシト申。尔間勅使立玉ヘ八劔上ケケ奉ニ間干将ヲ擲取テ頸ヲ切玉フ。一ノ劔ヲ莫耶取、或山家陰置、終ニ我子ノ僉責ニ取ラスル也。母語テ曰、汝能ク身ヲ慎ミ玉ヘ。汝カ父ハ此劔ヲ汝ニ取ン為ニ陰シ置キ其罪ニヨリ帝皇ヨリ頸刎ラル。帝王汝カ為ニ八敵ニテ御座也ト云。僉責是ヲ聞キ形見ト八思ヘトモ又父母ノ誤也。勅勸ニ背キ玉フ事非レ一。第一ニ盗人ノ罪科重シ。第二ニ天子ノ掠玉フ事。第三ニ王土ニ存ナカラ王勢ニ背玉フ事誤リナリトテ臆テ参内シ我如此奏聞シ名劔ヲ奉レ捧間賢人也トホメ玉。余ニ帝皇ノ御意ニ入故人ソネニ申様、僉責コソ常ニ帝王ヲ父ノ敵トテ御隙ヲウカ、ウ(見せ消ち)奉ル。君モゲニモト思召。既ニ僉責誅ルヘキ事治定也。然レハ打手彼カ処ニ

14ウ

向^クト聞^キ僉責^カ親類ニ遠^シ司徒ト云者心得^ヨト告^グ。僉責^カ身^ハ悉^ク鉄也。打^ハキ事難^レ叶^ト。詮義アレハ僉責申様、只今打ルヘキ、父母ノ罪故^ソト思^ハ八更^ニ天子ノ御浦見^ト不^レ思^トテ内裏^ヘ走^参イソギ首^ヲ刎^テ玉^ヘト庭^ノ上^ニカシコマリ申様、名^ハ劔^ヲ叡慮^ニ備^シ時^ハ向^ハ後^ニ八汝^カ住^ル処^心ニ任^スヘシトノ綸言汗^ノ如^トハ申セトモ人ノ讒訴^ニヨリ今又勅^勸蒙^ル曲^無ト云^トモ父母ノ罪科故^ト存^スレ弥^々天子^ニ科^御座^サス。トク^ク首^ヲ刎^テ玉^ヘト申^トモ人々恐^レ寄^者無^シ。或人此名^ハ劔^ヲ投^ケ打^ニス。僉責中^ニ取^リ切^ツサキ三寸喰^切、奥齒^ニシメテ己^レト頸^ヲ搔^キ落^キ死^スル也。彼頸^色不^替、木^ニカケサラセト毛^色不^反。其後釜^ヲ立、油^ヲ入^テ煎^{コト}三七日^ニ色反^ル也。此時帝王御幸^{アリ}。釜^ノ蓋^ヲ取^セ御覽^存ケレハ頸^煮上^リ帝王ノ御頸^ニ件^ノ名^ハ劔^ノ切^崎吐^懸ケ御頸^ヲ釜^ノ内^ヘ切^テ落^ス。一ツ頸^喰合^テ廻^リケリ。爰^ニ遠^シ司徒思^様、此事僉責^ニ我^告ル也。定^テ世^ニカク^レヘカラス。後日^ニ殺^レンヨリトテ自^ラ頸^ヲ切、同釜^ノ中^ニ入。三ツ頸^追廻^ルトモ絵^ノ如^也。

功匠、番匠如^シ上^注一^カ。

木^ノ道^ト材^木見^知者。又^ヲガ引^トモ^ヲ云^也。

紺搔^ト奥州信夫^ノ里^ヨリ始^也。

染殿^ト絹布類^ヲ色々^{ソム}ル^ヲ云^也。

綾織^ト衣裳^ニ色々^{ソム}ル^ヲ云^也。

15才

紋ヲ織事。正月ヨリ一月ニ一ツ、也。正月一日ヨリ七日迄召ス御衣ヲハ子ノ衣（トテ）カ小松ヲ紋ニ織ナリ。又后ノ御衣モ月ニ一宛都合十二月ニ十二重也。一重ト云ハ五月五日ニ菖蒲ヲ織タル御衣ヲ一重召セハ是ヲ十二一重ト云也。是ヲ以テ君カミケシノ衣着ラント古歌ニアリ。ミケシトハ卅六ノ衣ノコト也。伊勢物語ニアリ。

蚕養トハカイコノコト也。抑モコカイ無リシ時ハ寒ニツメラレ冬ハ穴ノ如クシテ寒フセク也。穴賢コクホレハ是ヨ

リ文ノ奥ナトニ穴賢ト書也。日本ニハ仁王卅代欽明天王ノ御宇ヨリ始云。昔北天竺ニ旧中里アリ。其王ヲハ

霖夷王ト申。后ヲハ光契夫人ト申。息女ヲ金色皇后ト申。此御母光契夫人御逝去ナラセ玉フ。故ニ又大王別ノ

后ヲムカエ玉ハ八継母ノ御事ナレハ邪見人ニ勝レ玉フ。或時其ノ国傍ニ師子死山ト云山アリ。住ムトテハ獅

子計リ也。此山ニ父王ノ御留守ニ金色皇后ヲ追放玉フ也。然トモ国王ノ姫君ナレハ返テ彼獅子トモ養イ奉リ終ニ

古郷ヘ歸奉也。又或時又王ニカクレ奉、鷹ノ多キ山ヘ追放玉フ。風雨霜雪ニソヲカサレ年月ヲ送リ玉フ。或時

多キ人ヲ鷹ガリニツカワル。此人々彼ノ姫宮ヲ見付ケ奉、御供シテ歸ケル。其後又海眼山ト云遠島ヘ放サ

ル。或時釣ノ小舟ノ風ニ放サレテ彼小島ヘツキ則姫宮ヲ乗セ申、本国「一」(「ヘゾ」カ)歸玉フ。或時帝王他

国御幸成シ時其留守ニ継母六位ト云者ヲ召シヨセ

15ウ

小庭ニ七尺ノ穴ヲ堀リ姫君ヲ埋奉ル。継母今ハカウゾト思召ケリ。サテ十日計リシテ大王還居アリ。姫君ヲ御

尋ネアリケレトモ人々知ヌト申。百日計シテ花園山ヲ御詠有シ時小庭ノ地ヨリ光指ヲ見ユルヲ御覽有テ博士ニ占

玉ハ八地ノ下ニ人体アリト申。俄ニ堀ヲ見玉ハ八金色皇后爰ニ御座ス。帝王継母ノシワザ情無シト思召セトモ不

思議ニ思召、汝ハ(目移リカ)臣家ニ仰付ラレ桑ノ木ノウツヲ舟ヲウタセ姫宮ヲ奉レ海中ニ浮、汝ハ只人ニ非、

神通第一ノ者也。何クもトモ仏法流布ノ国ニ付キ衆生ヲ濟度シ玉ヘトテ舟押出シ大王其ヨリ合浦ト云浦ニ桑ノ木ノミ
 繁タル小島ニ桑原院ト申奉陰居シ御座ス也。是ヨリ世捨ヲ桑門ト書ク此謂也。尔者舟ハ蒼波万里ヲ凌日本常
 陸国トヤ流ヨリ玉フ。或時釣ノ小舟ニ浦ノ大夫乗出見レハ浮木一ツ寄ニケリ。不思ギニ思、打破見玉ヘハ玉ノ様
 ナル姫君御座。浦ノ大夫此ヲ養奉ルヘシト申セハ姫君此国仏法流布ノ国ナラハ、トモ角モト仰ケリ。
 大夫喜ヒ宿所ヘ歸リ奉レル(前後脱字有るカ) 仰処ニ暫ク有テ姫出(君カ) 冠落シ御座。大夫夫婦共ニ悲ミ申セ
 トモ不レ叶、終ニ死去シ玉フ。又夫婦ノ者余ニ名残惜ニ清キカラヒツヲコシラヘ死人ヲ入奉リ置ニ梟(梟カ)リ。
 或夜ノ夢ニ我ニ食ヲ与ヨト見聞人物開見ハ形ハ水ト

16才

消テクサキコトモ無シ。五穀等ヲ奉トモ食シ玉ワス。大夫思フ様ハ此君ノ乘玉ヲ舟ヲ見レハ桑ノ木也。桑ノ葉ヲ奉リ
 見ルニ彼ノ食シ玉フ故、猶ヲ参スルニ次第二人成リ後動モセス、皆此ノ虫頭ヲ拳テイタリケリ。是我カ国ニテ
 師子孔山ニナカサレシ苦ヲ今ハヤスムナリトユメニ見ヘケリ。是ヲカイコヲ養ニ初トマリト申也。ニ番ノト
 マリ鷹群山苦ヲヤスミ玉ヘハタカメトマリト云ヘリ。其時ハサムカル気色也。三番ノ留リハフナトマリト
 云、後ヲ八庭ノ留リト申也。此ノ如四ツノ留リハ昔ノ師子孔山鷹群山海眼山庭ニ埋マレ玉シヲナヤミ玉フ。
 此ノ四ノ宿リノ後繭(糸偏に毎) ヲ作レハウツホ舟ニ乘玉シ事ヲ学ヒケリ。其ノ比常陸国筑波山ニ影道仙人ト云人
 此繭(同上) ヲ練テ綿ト云物ニナシ人ノ寒ヲ防セキ玉フ。綿糸ヨリ始レリ。又蚕養神ナリ玉フ時ハ勢至菩薩ヲ反化也。
 綿ト練シ人ハ釈迦ノ化身也ト云。由來集
 伯樂トハ室町ヨリ始コト。伯樂渡唐(カ) (左に「ヒ」見せ消ち)ノ生薬ヲ教テ歸ル大唐。保恩神ト云神ニニテ

御座ス也。

牧士トハマキ馬云人始也。是ハ国王也。大唐ニハ〔馬〕以下見せ消ち。馬ナトノ奉行也。又ハ草茹ト云。

炭焼ヨリ時画師迄ハ何モ職人也。

紙スキトハ天竺ニハ摩力波提ト云人始也。是ハ国王也。大唐ニハ毘波多ト云人始也。日本ニハ記私ト云人始也。其以前ハ木札ニ書テ編ミ連ネタリ。去程ニ文ヲ御札

16ウ

トハ云也。

廻船人トハ商スル者也。

水主トハ舟子頭ヲ云。

梶取トハ船艫トモ也。

漁客トハ他所ノ釣ノ人雨風ニ障ラレテ隣ノ浦ニ来ルヲ云也。

朱砂トハ朱焼也。

烏帽子商人トハ大唐ヨリ烏瑟ヒツ（者に必）ト云人来テカブリケルヲ見テ作リ始ル也。此人ノ名ヲ烏丸ト云故其レカ居処ヲ今マ烏丸ト云也。

沽酒トハウリサケト訓ス。

弓矢トハ弓ヲ八天竺ニテタラ樹ト云木ニテ作ル故ニ弓ヲ御ダラシト云也。弓矢愛染明王ノ持物。サマ／＼ノ子細アリト云。

猿樂トハ神代ヨリ存ト見タリ。中比迄神樂ト云ヲ恐ノ為ニ神ノ字ノ扁ヲ除テツクリ計ニテ申樂ト云也。一義ハ仁王五
 十代深草天王ノ御宇ニ一人シテ女房子ヲ産ム事四人也。姿ハ人ニ似、ツラハ猿ニ似リ。利根無限。色々ノ曲ヲスル
 故ニ先ツ管絃ヲスレハ其レカスル学ヲ申樂ト名クル也。此四人結崎外山坂戸円満井ト云也。一義ニ八日吉
 山王ヨリ起レリ。猿ハ万物ノマネヲスルヲ社人見テ其ヲ学ヒテ猿樂ヲ始也。

田樂トハ叡山ノ下法師秋ノ田ナトエ行テ猿ノマネヲスル也。又後ハ神前ニテ仕高足ナトヲ乗テネル。田畠ノ祈禱
 ナトニスル故田樂ト云。

狩人トハ狩場ニ出ニ非、内ニテ今夜ハ吉狩ノ折節也ト下知スル也。

師(マ)子舞トハ獅子頭ヲ作、布ナトヲ繼テ算所ノ者舞也。

傀儡子ハテス、ト訓ル。

琵琶トハ中比盲目シタル入道ネスミ色ノ衣ヲ着テビワヲ袋ニ入テ廻ル也。近代ハ公

17才

家ノ孫也。君達ノ盲目シタルニ直垂ヲ着テ平家ヲ面白ク語玉フ故ニ内裏ハビワヲメサレ弾シ物語セシニ依テ其
 時城ト云字ヲ用ル也。公家ノ遊ニ是崇敬シテ上座ニ置ル、故ニ座頭ト云也。但シ常ノ下々ノ者ノ座頭ニ成リタレハ座ノ
 カタハラト云心也。頭ノ字ニカタワラト云訓アル也。

梟御子トハ門殊ニ廻テ占ヲ問ヒ小鼓ノ服ニ夾シテ打懸テ着テ廻ル也。

傾城トハ越ノ浅王ノ時西施ト云美女存リシガ一度咲城傾キ百度咲ハ一國傾ク也。越王仰ニ云、今度命延、
 再帰國スル報恩ニ何ニカ胡王ヘ送リ奉ラント仰ケレハ範麗申様、胡王ノ御数寄ニテ御座ト可然ニ女房ヲツカワ

サレ(ルカ)ヘシト申。帝王、尔者何レヲ可遣仰ケレハ、ハンレイ昭君ヲ遣シテ可ト然申。然トモ三千人ノ后ノ内第一美女也トテ帝惜ミ玉フ。範麗申様、三千人ヲ内絵ニ書セ一ニ悪女候ヲアツメテツカワサルヘシト申也。然者トテ毛恋ト云絵師ヲ呼ビ書スル時キ昭君カ姿ヲ一ニ悪ク書ニケリ。是昭君我美人也ト自慢スル故ニクミテ毛恋如此書也。帝王歎キ思召トモ倫言(マ)如汗。帝カ違返シ玉ハン。故ニ胡国ヘツカワサル也。是範麗カ計コトニテ胡国ヲ可取為ト聞ケル也。胡国ノ臣下ニ吾司楚ト云者申様、是越ノ範麗カ計ニテ国ヲホロボサントノ巧ミ也。早ク此女房ヲ

17ウ

御返シ玉ヘト云。帝王返シ玉ハス。彼ノ美女ニ迷ヒ玉ケル程ニ越王打入、胡国ヲ切り取り再ヒ昭君ニ合玉フ間是ヨリシテ傾城トハ申也。

白拍子トハ仁王八十ニ代后鳥羽院ノ御宇ニ島千歳若(左に「ワカ」と傍訓)トテ一人ノ女房舞始也。水旱ヲ着テサイハライヲ振テ神事ナトヲ勤ム是也。

遊女夜發何レモアソヒ者也。カツキナトシテ夜ル行女房也。

医師トハ天竺ニ者波扁鵲、大唐ニ勝光師、日本ニ大典葉是也。

絵師トハ楊瀧観音ノ御態也。

仏師トハ毗首ヒシユカツマ摩ト云者也。

摺トハ上ニ委ク明之畢。

武芸トハ弓書馬礼ガク算等ニ達ル者也。先ッ人ノ態ニ九芸ト十能アリ。九芸トハ吹物音曲太鼓舞相撲利方物

云細工法門是也。中(十カ)能トハ弓鞆包丁馬鷹楽算盤連歌物書是也。

相撲トハ天竺ニテ仏ノ因位ノ御時太子ニテイマス時提婆ト色々ノ態ヲナシ玉フニ相撲ナント取玉フニモ仏マケ玉フ事ナシ。此故(カ)ニ經ニハ相者相撲ト説ケリ。

禅律ノ事禅家ニハ教外別伝不立文字ト立ル宗也。律家ニハ毗尼詮戒ト云テ五戒十戒或ハ五百戒ヲ持ツ宗旨也。聖道トハ諸仏内証ヲ知り行法座臥ニ勤メ行スル故云尔也。

修驗トハ物ノイノリ祭リスル

18才

(以下一丁分落ト、異本の四月返状「卯月十一日ノ文」23ウ「室兵庫」の注釈文の途中から始まる)
乗リ舟道ヲ知者有ル也。処ハハリマノ国也。

刀禰トハ河舟ニ上手ノ人ヲ乗セ取リアツカイスル者也。

馬借トハ駄賃取人ノ事也。

車借トハ車ノ遣手ト云者アリ。

借上トハ錢ヲカシ十日宛ニ利ヲ加ヘアクルヲ云也。

替錢トハ田舎ヨリカワシ津湊ニテ取ルヲ云也。

商人トハ旅人モツキツケタル宿ニ付ヲ云也。

升(舛)載トハマスメノ物ナト少モチカヘス渡ヲ云也。

大舍人ノ綾トハ昔ハ舍人之居所也。今ハ処ノ名也。

大津ノ練貫トハ山城ノ名物也。

六条ノ染物トハ北ノ物ト云。織物板ノ物ナトヲ張テ^{國歌}國裏ヲ付、綿ヲアツク入、夜着ナトニスルヲ云也。御寒ナト、モ云也。

猪ノ熊^{ヨリ}サガ土器迄^{ハハ}処ノ名也。

奈良小刀トハナラノテングイ町ニ文殊四郎ト云鍛冶アリ。是ハ般若寺ノ文殊ノ劔ヲ打テ奇特有故ニ尔名乗也。

高野剃刀トハ諸人発心シ鬚ヲソリ則剃刀ヲ買也。祭ノ力治カ高野^山ヘ登テ作ル也。

大原ノ薪トハヲハラ木トテ一尺計リ切テ売也。

小野ノ炭トハ丹波ノ小野細川ト云ヨリ出ル也。付之物語アリ。内裏女房ニ九州ノ太宰府ノ少式ト云人、都人炭ヲ手

ニテハクベスヤト問シニ本歌ヲ以テ答ヘケリ。何^ニシテ何^{ント}ヤクラン河内ナル横山炭ノ白クナレルハ。只今ノ炭ハ

クロケレハ火箸ニテコソクヘニケリト云也。

小柴トハ^{マユ}眉スミヤク処ナレハ云尔也。

城殿ノ扇トハ京ニ彼人ノ居処ナレハ云尔也。此人大唐^{ハシヤウ}班穰預ト云

18ウ

女ノ作扇ヲ^{見テ}日本ニ歸リ作広ル也。

仁和寺ノ眉作^{マユハク}眉掃者也。アマ比丘尼ノ能^{態カ}也。

姉小路トハ聖徳太子姉^{タツタヒメ}裁田姫ト申。片輪人御座間太子針^{スル}様ヲ教玉フテ故ニ針ヲ^{スリ}売リ玉ヘハ云尔也。

木ノ芽漬トハ木ハ山枅皮ヲ削リ煮染漬トコソ聞。

醍醐ノウトメトカチメ也。

心太トハ海草ニアリ。然トモ京ニコシラエ様吉ケレハ也。

加賀絹トハ昔シ加賀ノ河ノ下タト云処ヨリ君ノ御衣參也。

精好トハ大口ノ用也。

上保トハ美濃ノ国芹河ト云処ヨリ内裏ヘ布參ル。是ハ幕ノ用也。

八丈トハサイミ也。京ノ町ニ八丈ノ座越後ノ座トテニ座アリ。

信濃布トハ雪ニテサラシ白キコト見事也。

常陸細トハ紫ニ染ル也。

上野ノ綿ハ余国ニ勝ル也。

上総ヨリ切付迄ノ国々ノ名物也。

伊預簾トハ竹細アミテ京ニ登、金中ナトニツル也。懸テ其マ、スツル也。

讃岐円座トハ蘭ニテ縁ナトニ敷也。

榎原トハ播磨ノ国ニシテ御神御座ス。因位ノ御時早朝ニ消息ヲ遊スニ死玉ヲ時薬師来テ米ヲスリテ參セケレハ治リ

玉ヘリ。依之今モアシタ物ヲ書ニハ米ヲ一粒食テ書也。其ヨリ米ノ粉ヲ入テ紙ヲスク也。是ヲ榎原ト云也。

備前刀トハ長船ト云在所ニ打ツ也。

雲出鍬トハイツモヨリ始也。

甲斐ノ駒トハ聖徳太子ノ神通驢トハ名付玉ヲ黒ノ馬。四ノ白キ馬也。

長門牛^{トハ}東大寺ノ柱曳^{タル}

19才

車牛。長門ノ国馬石田庄^{ヨリ}出^ツ。額^{カク}玉挿^{サウ}額^ニ玉アリ。巨細大仏殿ノ縁起^ニアリ。

奥州ノ金^{トハ}余国ノ金^ニ勝^{タル}也。

備中铁^{トハ}細谷川^ト云所^{ヨリ}始也。

越後ノ塩引^{トハ}酒ノ塩引^{トテ}吉也。

椎^ハ若^ハ（狭^{脱カ}）祿路谷^ト云所^ニアリ。

寄符^幸ノ栗^{トハ}サ^ハクリトモ云ヘリ。去者古歌^ニ云、筑紫^{（人^{脱カ}）}空事シケリサ^ハクリノサ^ハニハナラテ

柴^ニコソナレトヨメリ。是能因法師ノ言也。

宇賀ノコフ^{トハ}エゾカ島弁才天御座^ス所^ニアル故云尔也。

松浦鱒^{トハ}ヨ^ノツネ大^{ニシテ}美也。砂^ニ埋^テ後、取出売也。

豊饒^{トハ}ユタカナル義、又フクラ^ニカコム^トヨム也。心^{ロハ}フクラ^ハ最中ノ義、カコム^ハ公方^{ライカ}ニ存^ル

也。

甲乙^{トハ}上^ト下^トノ人也。

五月九日文

面謁^{カタル}面^ニ至^テ也。

積鬱^{トハ}イキトヨリ^ヲツム^ト訓^ス。思事ツモル義也。

草亭^{トハ}クサノイヨリノ事歟。亭^ハアハラヤトヨム也。

資具^{トハ}仕道具也。

纏頭^{トハ}ミヤケノ外ナシト云心外^歟(余白に「ヒ」見せ消ち)。

率^{トハ}ニワカト誦也。

周章^{トハ}アワタ、シトヨム也。

忙然^{トハ}アキレハテタルトヨム也。

幔^ト者豎布也。幕^ハ神宮皇后ノ時^{ヨリ}也。舟中^{ニテ}雲霞ノヲ、イタル^ヲ見^テ作^ル也。付其色々ノ表示^{アリ}。横^ニ五

段^ハ五大尊、上^ハ降三世、下^ハ不動繩ノ三色ナル天地^カ。人又^ハ三身。凡^ソテヲ廿

19ウ

ハツク (ルカ) 八廿八部衆又廿八宿。尺ノ十二有^ハ十二月又十二神。串ノ八角ナルハ八大荒神。

高麗縁ノ畳^{トハ}白縁也。公家殿上人ノ人敷玉^ヲ也。

着^(差カ)筵^{トハ}二重八(「ヘノ」カ)縁也。

屏風、几帳^キ、ミスニソエテカクル歟。又ノレント云義アリ。ミス^{トハ}金物ナリ。スタレハ金物ナシ。

エン通^ノ面^ニカクル也。

引入^{トハ}公方ノ御供^ヲ盛物也。曳物大^クタクマシキ也。

合子^{トハ}七入九入^リ御器数多^キ故云尔也。

打銚子トハ仁王十六代近工殿ノ御宇ニ酒伝童子ト云者アリ。是ヨリ始ル。其故ハ京舟（丹カ）波ノ大江ヨリ非人ノ男来リ。始ハ人ヲ取ルコトヲ不知。後知ルル彼ヲ殺シ為ニ両方ニ口ヲ付、中隔ラシテ一方ニ毒酒ヲ入、彼ヲ男ニ取ハヤシ吞セ殺セハ其後一方ノ口ヲ常ニハツ、ムト云也。

家人トハ被官、

家来ノ仁トハ近付ノ衆也。

無骨トハ無美身人ハ座敷ニ出レハ必ス汁ヲコホス故全体骨無キ者ニ仮（似カ）レハ也。

配膳トハクハクバルトヨム也。

勸盃トハ座敷奉行也。

料理トハ万ツノテウ菜シ味ヲ付ル者也。

包丁トハ魚鳥ノ切目ヲ能々知人也。

故実トハフルキ物知ト訓スル也。

職者トハ役者也。

棄捐トハステソコナウトヨム也。心ロハ只偏ニ奉頼ト云。

五月九日ノ文

不審トハアキラカナラス也。

玉章トハ或人仁対玉ト云宝ヲ持ツ。此玉ニ思フ言（左に「事」「言」「コトバ」と有り）含テ投ケ

20才

ヤレハ行^テ其人ニツフサニ語ル也。依之文^{ミヨ}玉章^ト云也。

余鬱^{トハ}イキト^{ヨリ}ニアマルコトナク不残玉章^ヲ見^テ知^ト云心也。

徘徊^{トハ}立^チヨラレハ本望也^ト。「一」(「^一云^一」カ)。

光臨^{トハ}望^ミ来^ラハ也。

奉察^{トハ}思^{ヤル}心也。

蠟燭^{トハ}大唐ニラウト云虫^{アリ}。彼ノ虫ニトホシクツカ仮(似カ)ル故ニ虫扁ニ書也。

能米^{トハ}黒米也。

味噌^{トハ}百味ノ最頂也。此味噌ヲ女房詞ニ香ト云。源氏ノ香ツクシニ蝸^{シト云}香名アリ。勝^{レテ}匂(草冠に匂)深

ケレハ是^ヲカタ取り公家天上人^ハヒクラシトモ云。又蝸^ト云字ノヘンヲカタ取^テ常ノ女房^{ナト}虫トモ味噌^ヲ云也。

塩梅^{トハ}シワハヤクスキ味ハイ有^{レハ}云尔也。

初コソニハ海月^{クラケノシ}熨斗鮑梅干削物此等^ヲ尤モ用故云尔也。

魚^ノ躬煎^{トハ}魚^ヲ切、内ノ方^ヲ云也。

王余魚^{トハ}神宮皇后ニ韓^カ退治ノ時舟中シテ鯛^ノ鱸^ヲ半分食^{シテ}一方^ヲ海ニ捨玉フ。其化^{シテ}魚^トナレハ王余魚^ト書^テ

カレイト誦^ム也。其後天下^ヲ納玉^ヘハ今ニ祝言ニ用之^云。

楚割^{トハ}鱒^ノ背骨^{ヨリ}ワル^ヲ云^ト云。

熊掌^{トハ}クマハ手^ニ味^ヲ持故也。冬ノ雪中ノ為ニ年中一切ノ虫ナト^ト手ノヒラニツフシツクト云也。仍^テ人熊ヲソロシキ物ナレトモ一^ツ穴^ニ入^レハ掌^舐（舌偏に丈）^{ルト}云也。

狸ノ沢渡^{トハ}足^ニ（味^カ）アル故也。

猿ノ木取^{トハ}腕^ニ味^{アル}ハ也。

鳥醬、鳥ヲタ、キテナラス也。

蟹味^{トハ}噲^カニ^ラ

20ウ

集^メテツキクタクナラス也。

鮭^ウ（魚偏に豕）鱗^ル鱗^カ（左に「ウルカ」「イルカ」「ユルカ」と傍訓）^{トハ}アイノ腹^子也。（或^カ）河^ニテ

女房綿^ヲカクル^ヲ見^テ西行、其綿^ヲ売^歟問玉^ハ八女房狂歌^ニ云、此^ノ河^ヲ鮎^取リ河^ト知^リナカラワタ^ヲウルカト

問^ハヲロカヤトヨメリ。

鳥賊^{イカニシサ、イハマクリエヒ}辛螺^ハ螺^ハ蛤^ハ交^リ雜^ハ喉^{ヒウヲ}氷魚^{トハ}谷河（之^カ）魚。白魚也^ト云。

六月七日文

鵜鷹、仁王十七代仁徳天皇ノ御宇^ニ始^ル。或時帝王御惱御座^ス。博士^ト占^ヒ申^ス様、河内ノ国キンヤガタ野^ト

云^ハ処^ニ三^三足^ノ雉^子アリ。此^ノ則^チ御惱^ヲ成^奉ル^ト申^也。其時西来^ト云^者ヲ大唐^ヘ渡^シ鷹^ヲ我朝^ニツカイ^テ彼ノ雉子^ヲ取^セ

目^出タケレハ公家^ニ用^之給^也。又胡竹^ト云^者鷹^ヲ心得^故、今^ニ西来胡竹^ノ二様^{アリ}。大唐^ニ右^ニス^エ日本^ニモ

公 (「家^ハカ^カ」) 右ニスエルト申。武ケ^ハ用心^ヲイタシ左ニスエル也。本歌^ニ云、ハシ鷹^ノ身^ヲタ^ハサキ
アラソワシモロコシ人^ハ右ニスエケリ^ト云々。我^カ身^ニ付^ニ方^ヲ身^ヨト云歟。歌^ニタ^ハコシ^ノ羽^ゾシラフナリトヨ
メリ。鵝^ヲモ此代^{ヨリ}始^ルト云。

逍遙^トハアツメアツマルト訓^ス。

返逆^トハ吉^ヲソムキ悪事^ヲタヨル^ヲ云也。

籌^ハ左に「ハケマス」と傍訓) 策^ハ左に「同」と有り) ^トハ馬^ニムチウツト^ト云。調法^{スル}ヲチウサクスル
ト云也。

狼藉^トハヨリシクトヨム也。如次。妻^ヲカメ男^ヲカメ也。草花^ヲ折^シキアラクスレハ云尔也。

21才

蜂起^トハ後漢^ノ光武帝^ノ御頸^ヲ我^レ死^タラハ門^ニカケ置^キ敵^来時蜂^ト成^リテ敵^ヲサシ殺^ト云事^{アリ}。

強竊^ニ盗^トハ強^ハ日中^ナトニモ人^ノ物^ヲ無^カ理^ニ押取^事。竊^ハヒソカニヌスム事也。

横行^トハ人^ノカコイフセキタル処^ヲ破^リ通^ル者也^カ。惣^{シテ}一切^事マカリタル心也。

財産^トハ大唐^ニハ土産^ト云。人^ノムスメナト^ノ子^ヲ産^{タル}時喜^ヒ宝物^ナト^ヲヤル^ヲ奪取^ヲ云也。

追捕^トハ土民住宅^トハ百姓^ナトタノシケレハ夜討^打 (「物^ヲ」^カ) 取^ル義也。

城郭^トハ七里^有クワク^ト云^ヒ三里^有ラ城^ト云^云。

誅伐^トハ伝^ハ古活字本「縛」^テ殺^ヲ云也。

宿直^トハ夜主君^ヲ守護^奉時夜ツメ具足^トテ着^ヲ云也。

眉目トハ面目ノ事也。

門葉トハ主人ノ幕ノ紋ヲ一門一家用故也。

粉骨トハホネヲコニシテ主君奉公シ奉ルヲ云也。

約諾トハ兼定義也。諾ハウケガウトヨム也。

幌トハ十二様アリ。文字モ替ト云。一義云、班ハシ（ウツイ）カ）流ハ母ノ胎内ニ有時衣那ト云ヲ表ト云。此レウス袋ヲ

カフリテ在ニカタ取也。蘇武流、武羅ト云武士ノ薄物ト云心也。張良流ハ三色ノ中ニ赤白カ本也。日本ニハ仁

王十六（五カ）代応神天王ヨリ始ル。赤白合成ノ色ハ神宮皇后ヨリ始ル也。兩部不二ノ心也。班会流マハ女房ハ心ハ

憶病アレトモ肝ニケナケヲ持也。依之母ノウス衣ヲホ（「口ニ」カ）用ト云。

旗ハ軍ノ駿シ也。

21ウ

内戚、外戚トハ如次。父方母方ノ者ヲ云ト云。

一揆トハ一ツレト云心也。

朝恩テウトハ心地シン觀經曰、世ニ四恩アリ。一ニハ天地ノ恩ニハ國王ノ恩三ニハ父母ノ恩四ニハ水火ノ恩。是皆朝恩也。

（「今ハ」カ）御門ヨリ御恩ナリ。

許容トハユルスカヲハセ也。不審ノ者ナト許ル義也。

六月十一日文

進發トハ陣立チ也。ス、ミヲコスト訓スル也。

綸(カ)旨トハ帝王ノ仰書ノ事也。

院宣トハ帝王ノ御書也。

令旨、官符宣トハ親王或ハ門跡衆評定シテ書ヲ云也。

指南トハ黃帝ノ御代沢祿山ノ蚩友ト云者ヲ退治歸陳(マ)有時海上ニ霧降テ東西難知故人形ヲ作リ指ニ鉄ヲ作リ付、車ヲ

アヤツリ舟ニ乘スレハイツモ指南ノ磁石山ノ方ヲ指ス故ニ夫ヨリ東西南北知(一ルカ)カ故(指カ)南ト云始也。

人形ヲ舟ノヘサキニ立ルト也。

大將トハ公方也。

副將軍トハ上樞殿也。賴朝ノ御代義經ハ副將軍也。

執事トハ(マ)官領ノ内長尾千葉ノ家ナト也。

施行トハ別当ノ類ヒ也。

規模トハウカ、イシルス也。

先規トハ前(カ)ヲウカ、ウ義也。

後昆トハ後ノ鏡ノ為ニ也。

眞(タス)鼻(タス)(左に「フセク」と傍訓)トハマクルヲ助クト訓ル也。

紫系綴トハ大將ノ召ス着長也。

卯花威トハ白糸也。

黒糸ヨリ 黒革迄ハ如常一。

大荒目トハサネヒロキ也。

拵

22才

縄目トハ糸ヲ縄目ニスル也。

竜頭トハ甲ノ事也。

一 刻、々ノ字ハ陳ナトニテ羽書キ吉シ。是ヒクハネトヨム門(間カ) ト云。頸刎ルニハ此字也。

手蓋トハ手(カ) (前カ)キヨリ甲ニヲ、ウ物也。

半首トハ甲ノマルキヲ云也。

唾懸トハ胸ニアツル也。

鍍袴一ニトハカ金テクサル也。

逆類トハ鬼類ノ面ヲツクリ、ホウアテナトニスル。

石打ノ征矢トハ鷹ノ羽ニテハグ矢也。惣鷹ノ羽ニ多ク名アリ。鈴付、大石打、小石打、切符、風切ナト
(也カ)

尻籠トハ大竹ニテ其任作リ也。武家ニ用也。公家ハ箆也。又云、尻籠ハウツホト云。

兵庫鎌ハ如図。(図)



梁鑠(鈔カ)トハ白キ也。

螺鞍トハ青カイニテスル也。

料鞍橋トハ張鞍ノ下地也。

驪ハアライ鹿也。

アサラシハ河ウソノ成リアガリ也。

泥障トハ泥テサヘ隔ル物ナレハ云尔也。

八木トハ米ノ事也。

糲袋トハ食物ヲ入レ鞍ノ傍付ル也。

行器トハサツシヤウナトヲ入、余所ヘツカワス物也。

証判状トハ帝王ノ御感状(カ)云也。

後胤トハ未代手ツキノタネ也。

龜鏡トハ昔(マ)太唐ノ五帝ノ始、伏キ(照カ)日鏡ト云鏡カメ載テ上ル也。此鏡ハ人ノ善悪科ノ輕重ヲ裏ヨリ表ヘ見

スカス也。尔間鏡ノ内ニ龜ノ形ヲツクル也。鏡百王ノ御面ヲ備セハ官

22ウ

人万人モ正路ノ本也。サレハ千秋之鶴ノ音五岳ノ嶺ニ響ケハ万歳之龜巨海ノ底ヨリ浮ト。又惣シテ鏡ヲ鑄始シ者伊尹ト

云者。 以上

(余白)

23才

庭訓往来私下

七月五日文

乍恐_ト敬ナカラ_ト云_レ心也。

不慮_ト思外也。

微力_ト我_カ (力_カ)ノ及程也。

愚状_ト寸隙無間伝奏書ニ不及直札_ヲ捧_{ルト}也。

洩申_ト可入 (披_カ)露申_ト也。

紅葉重_ト上_ハ赤_ク下_ハ白_キ也。

柳裏_ト表黄色_ニ裏_ハモヨキ成_ラ云也。

小隔子_トカウシノ如_ク織タル小袖也。

単衣_ト精_ノ絹_ヲハダ付_ト成_ル云也。

紅袴_ト内裏奉公ノ人着_ル也。裏_ハ白_ク表_ハ練_ヲコク紅_ニ染_メ精好_ヲ裳袴_ト同事歟。

狂文唐一 一(「衣トハ浮文」カ)有唐物也。

朽葉トハ 豎ツハ 紅ヒ横ハ 黄也。

袖トハ コムラサキノ常ヨリ コキニ薄ラ縫也。薄ラアコメト云本歌ニ 東路ノハニラノコヤノアコメカキ綴ノサネ、
ヲノツカラカワト。又薄ニテ葺タル屋ヲアコメヤト云也。

浮文トハ ウチ織ノ事。

卷染トハ ク、シノ事也。

村紺トハ 手染ノ絹云也。

浅黄ノ小袖トハ 水色。文ヲ付ル也。

懸帯トハ 女房上着ノ上ニスル事歟。

冠表衣トハ 黒装束。

水旱トハ 打力ケテ着ル衣也。常用ニ非。天下日(早カ)ノ時祈ノ為也。

狩衣トハ 公家鷹狩ノ時召物也。去者歌ニ云、箸鷹ノ身ヨリノ方ハ雪消テ只ダサキノ羽ヤ白符ナル。ントヨメリ。

鷹ノ「」(「右ノ身」カ)ヨリ左ヲタゞサキノ羽ト

23ウ

云也。又公家ハタカノ左ヲ只タサキノ羽ト侍ルヲ。又公家「」(「余所」カ)仕ナトニ御出ノ時ハ色々ノ絵

書付縫付タル単衣ヲ装束シテ行玉ヘハ狩衣ト云歟。

直垂、大口モ公家ノ衣裳ト申也。

大帷トハヒロク大キ也。

大星トハ鹿ノ目ナト有処ヲケヤ(カカ)リハニスル。夏毛何モアリ。天竺ニ天羅国ノ波斯匿王ノ太子産テ七歳ノ時母云、我ハ黒鹿山ノ鹿ノ王ナリシガ人間ニタヨリ仏道ノ為ニ既ニ大王ニ契ヲナシ奉リ此王子ヲハ星ニ祈テ設リ。是迄(「也」トカ)テ(「カキ」カ)消様ニ失セケリ。尔間此王子ノ左ノ足ノ斑ナルコト鹿ノ毛ヲ見ルル如クナレハ斑足王ト名付奉ル也。此足ヲ陰サン為ニ始テ袴ト行騰ト云事御座也。牛胸懸トハ語ヲ縁語ニ任テ物類ヲ書出玉ス(ニフカ)也。用ヲ云ハ車牛ノ道具也。

七月五日ノ文

用反古ヲハ余所ノ書状来時自ララ紙無ニ依躰テ状ノ裏ニ反事ヲ書ケハ云尔也。夕テ奉ノ状ナトニハ礼紙トテ先一重ニ書テ奥ヨリ卷テ其上一枚ニテ卷、上ヲ又一重ニテ卷キ上下ヲ折リマクル。卷数ナトノ如ク也。一重ニ書テ礼紙一枚、表裏又一枚ト云。下ハ一枚ニ書テ上裏計リ也。今時小文シタテト一枚ヲ三折一分切サテ(キカ)表裏ニスル、常ノ事也。此表裏ノ端切ノ紙ヲ以テ中ノ書状ヲ礼紙卷テ其上ヲ表裏如常ノ習有リ。是反古ヲ用ヨリ如此。輕賤トハカロシメイヤシメル事。非ト也。

24才

目錄トハ物数ヲシルシ立ル云也。

単衣如先。

魚竜トハ竜ヲ紋ニ織付也

白張トハ裏白御衣也。

長絹トハ御児ナトノ召上下。ス、シノ絹ハ白絹ヲスル。(袖カ)ノハシニ紅ノク、リヲ入、赤キ菊トヂヲ付。是表衣也。

素絹トハ白絹ヲスル。昔ハ若輩ハ薄墨ニ染、老僧ハ素シロクスル也。今時分是ヲ打返シテ若輩ハ白キヲ着也。

横被トハ上代外道有テテ仏ヲ害ン為ニ懷ニ刀ヲサス。仏弟子其ヲ頭カサ為ニ右肩ヲ又キ礼シ奉ル也。或時阿難、頭陀ヲシテ通玉ツツヲ時女房右ノ膚ハダヲ見テイタク付奉ル。其ヨリ仏此横被ヲコシラヘ玉フト云。

鈍色トハ灰色ヲ云也。又白練一(異本「衣共」云)。下袴アリ。

如意トハ橋梵波提(クハ)ヨリ始也。此人口牛ノニレカムニ似リ。又爪牛ノ如シ。而ニ説法ノ時談義時見ニクキトテ此ヲ隱ン為ニ如意イニ作リ面ニアテ、シタウツヲ足ニハク也。是ハ過去ニテ稻(草冠ニ稻)ノ穂ヲ切り玉フニ依テ五生ノ間生レ牛ニ今人形ニ生レトモ又形惡也ト云。

帽子迄ハ如文也。

直綴トハ惣シテ別々ニシテ律僧ノ衣ノ如ク也。今ハ一ニ縫合ル也。

鼻高トハ黒染ニ塗リタルヲ云也。

草鞋トハ錦ニテ上ヲ張リ板敷ヲハク也。

横笛トハ大唐ノ晋七代官也代ニ馬融ト云者ノ池ノ辺ヲ通ル時童一声ヲ吟シテ雲ヘ上ルヲ聞キテ面白思ヒ竹ヲ彫テ吹。似ルハ尔云也。

和琴トハ昔シ(弓カ)ヲ六張双テ絃ヲ引レタリ。今ワゴント名付テ諸樂器ノ上ニ置ク也。長ハ(三尺カ)六

寸也。日本ニテ作ル。白雅ト

24ウ

云者作也。

箏トハ系ヲ七筋カクト云。歌ニ云、桐ヲ（シモカ）琴ニナスヘキタメシニハ鈴カノ河ニ引渡スカナトヨ

メリ。

琴ニ（左に「ヒ」見せ消ち）ワハ魏ノ武帝ヨリ始也。

方磬トハ泗浜ノ石 作ナリ。磬ニハ、カトアル故ニ方トハ云也。又クチラノヒレヲマネテルトモ云也。

尺ハトハ唐ノ玄宗ノ御宇ニ始也。

征鼓トハ鱈口ニ似ル物也。

三ノ鼓トハ三番目ニ打ツ故ニ尔云也。三番目ハ大鼓也。鼓ハ秦ノ穆王ノ時始ト云。

摺鼓トハ仁王四十六代孝謙天王ヨリ始也。彼ノ王ハ女王ニ（右に「ヒ」）御座也。而ニ大集経ノ文ニ所有ニ三界ノ子煩悩男

合集為女一人ノ業障ト説ケリ。此文ヲ見テ腹ヲ立テ引破リ開ラ巾ヲ捨玉フ。其罰ニ依テ開クナリ世間ニ相応ノ閉無故

勅使ヲ立テ国土ヲ尋ネ玉フ。而ニ江州弓削ノ里ト謂フ処ニ田ノ草取リ入道カサヲ二ツ着テケリ。不審思一 一

（異本「ヒ問ケレハ」）入道申様、我レイカナル業ニ依テ持物大キナレハ如此申。勅使是レ可然ト思、急キ

内裏ヘ可ト参有ケレハ彼入道イカナラン罪科ニ行レント思フ也。尔レトモ王命ナル上ト思ヒ内裏ヘ参ケリ。其

道鏡法師ト名付テ孝謙皇后最愛シ玉フ也。此レハ道鏡昔愛染明王ヲ信シ奉ル故也。尔ルニ皇后彼道鏡ニ最ア

イシ玉ヲ時ハ天地モ動ク程喜ヒ玉ヲ故ニ公家天上人摺鼓ト云物ヲ打、彼ヲマキラカスト云。

不日トハ一切世出世ノ事ヲ作スニハ明日ハ日モ

25才

無様ニ今日計ト可致ト云義也。

生涯トハ生ノキワメトヨム。折角事也ト云。

七月日記計一字書クハ人ヨ下テ書ト云。

七月晦日ノ文

下着トハ洛中ヨリ田舎へ下ル事也。

殆トハウラムトモアヤシムトモヨム也。恥入ト云心也。

往日トハ日比ト云心也。

洛陽トハ東京ヲ云也。西京ヲハ長安城ト云也。

御引付沙汰トハ先代ヨリ定ル沙汰ノ事。

案堵トハツチクレヤソノズトヨム。所領我レニ落付タル時礼錢ナト仕ラル云也。

遺跡相論トハ親ノ譲タル跡ナト並テ相論スル「」。

越徒違乱トハ自他ノ境ヲ乱スル事也。

参訴トハ参リ訴申ト也。

侘際トハ所領ナトニ妨ケ多シテ所努シカタキト也。

短慮トハ物ノ忍無ク肝ノミジカキ人也。

未練^{トハ}物ニネレ又人ト云事也。

士代^{トハ}年貢納ル事云。又一義作子ナト (申カ) 親^{ニハ}田畠ナトカエテ作ル事也。

草庵^案(左に「匕」見せ消ち) ^{トハ}上古紙無時^{ニハ}草ノ葉ニ文ナト書見ルコト也。

引付問住(注カ) 所^{トハ}奉行所サタ所也。

上裁^{コケル}勘判^{トハ}公事文ノ判形ヲ留テ一々ニ上ヘ申上クル。又上ヨリ御裁許ニ預ル事ヲ云也。

義定^{トハ}公事ヲ行人ヨリ合目算スルヲ云也。

評定 (衆カ) ^{トハ}惣奉行探題官領闔閤右筆所司代、此衆一人モ闕テハ評 (定不カ) 成故衆ト云也。

雑務

25ウ

流例^{トハ}処務ニ多ノ品有。米錢綿漆^漆(書き入れの漆は人偏) 布絹 (紙カ) (魚カ) 塩等色々納所^{スルヲ}

云也。先代ヨリノ恒例ヲ流例ト云也。

傍例^{リツ}律令^{トハ}掟也。傍輩衆ノヲキテ上ヨリノ如ク武家無相違也。

晚学^{トハ}周礼曰ク幼ニシテ学者ノハ^ハ出ニカ^ニ日ノ光ノ、老シテ学^ハマヽ者ノハ^ハ取レ^レ灯^ノ如シ行カ^ル夜^ル。又大唐ノ人昼^ル仕^レ夜^ル学

也。或^ハ雪ヲ積ミ為レ^レ灯^ノ或^ハ以テ螢火ヲ為^レ灯ト学文ヲスレハ螢雪讚仰ト云也。

右筆^{トハ}一切ノ文書ヲ (カク人カ) 也。

雑訴、小事公事ノ体也。

管見^{トハ}ヨシナトノ穴ヲ以テ目ニアテ天ヲ見ル程ノ事ト云義也。

八月七日ノ文

庶幾^{トハ}コイネカウトヨム。ウケ隨心也。

四海泰平一天靜謐四方^{ヨリ}夷起打破^{ント}賁^メ入也。東夷南蛮西戎北狄一^一時^ハ四海ノ波ヲ立^テ有情ヲ

殺^{ント}ト^ル。然^{トモ}神明仏陀ノ加護ニ依^テ天下泰平也^{ト云}。

攘災^{トハ}ワサハイトヨム。

幸祐^{トハ}サイハイ喜也。

停滯預義^{トハ}物ノト、コヨリ義理ノカ（ケカ）少^シウタカワシク義理カ^リ事不可有^{ト云}。

政道^{トハ}マサシキ道也。世ノ政道吉、正直憲法ナルヲ玉銚^{ト云}也。彼玉銚ヲ行先^ヘ投^レハ隘路^モ平ニナリ藪

蕪^モカケ破^{リテ}道直ニナル如ク君ノ仰^ヲ敬^シ道ノ々タル^{ヲ云}尔也。

緩怠^{トハ}人事ニ物ノ法

26才

度^ヲユルムル事多ケレハ後ニハ必ス尾籠緩怠^ヲイタス也。只^タ人ハ常ニ天ニ^{セク}踞^{メリ}地^ニ踏^{スル}如クスヘキト也。

上洛ノ費^{トハ}如上^ノ。政道疎^{ニシテ}緩怠ノ義アラハ上洛ノツイエ也。惣^{シテ}費^{ト云}ニ三アリ。幼^{ニシテ}学^テ老^テ忘^ル。是レ

一ツノ費。久友^{ニシテ}等閑^{スル}。是一費也。君^ニ仕^ウマツテ輕^ク背^ク。是一ノ費也。世^ニ指出^{ツイエ}トハ^是ヲ云也。

是^{ヨリ}一切ノ物ノイタツラニ捨事^ヲ費^{ト云}也。

活持^{トハ}事^欠ヌ様^ニ物^ヲ用意^{セヨ}也。

計略トハ物ライケ助ル様ニセヨ也。

諸亭ノ計廻トハ三官領ナトノ居所、又ハ諸侍「」（異本「出入スル」）処ヲ凶ッ申ヘシト也。

凶師トハ一切ノ事ヲハカライ申ス者也。

賄賂トハツクノイ也。

属佗トハサツ掌也。

上衆トハ沙汰ノ上衆也。

頭人トハサタノ頭ヲ取人也。

内奏トハ隱密ニ指南ナトヲ云也。

肩鼻トハ力ヲ添エル人也。

謀実トハイツワリマコトヲ相論スル事。

甲子ノ次第トハ田畠等ヲ売ニ廿年計ヲ用也。其ノ後ハ不用也。凡甲子ハエト干支ヲ考ヘ見義也。

闇闇トハ沙汰ノ子細ヲ云始人ノ処ヲ諸評定衆ヲ出合云フ宿所ヘ打ヨル義也。

終日トハ朝ヨリ夕迄ノ事也。

勘判トハ謀板トテヌリタルイタニ人数ヲ書也。

問住（注カ）処ノ賦トハ何様ノ罪過ノサタソトフル也。

問状トハ罪科人問状也。

被下召

26ウ

符ヲト（ハカ）執筆ノ方ヨリ問状ヲ訴人ニ給テ急キ此問状ヲ論人ノ方ヘ遣シ彼ノ論人ヲ召テ參ルヘシ。其論人若及テ兩度ニ無音ナラハ直ニ召符ノ下ル也。

違輩マ參状トハ奉書ヲ不用事也。

三問答トハ論人訴人相對シテ三問答ノ後ハ是非ヲ云ハス任テ理ニ裁許有ヘシト也。

雌雄トハ如次。女鳥男鳥也。事ヲアラソウ義也。

沽券トハウリフタ也。

安堵年記トハ十年トモ廿年トモ地ナトヨ売、後本錢返シ地ヲ取レハ也。

放券トハ（右にも「トハ」ハウケン）我奴婢ヲ人ニ売放ツ事也。奴ハ女、婢ハ男也。取合テ雜人ト云也。

券契トハ親ク契リ所帯ナトヲ讓ヲ云也。

和トハ和合義也。

眞（負カ）累証文トハ公方私隱無キ文証ノ事也。

管領寄人トハ管領ノヒイ鼻者ヲ云也。惣シテ京ナラハ武衛細川畠山、關東山内殿（也カ）。天下ノ国々如

此ト云。

差符方ノ与奪トハ一人ハ罪科ニ落テ後眞鼻ノ人有テ如本面許有ヲ与奪ト云也。或我方処ヘサシテ来財産ヲ近付分テ

遣ス云トモ「」。又人ノ相論ヲ分別スル人トモ云。

探題トハ管領ノ中ノ頭也。

放火トハ人ノ家ナトニ火ヲ付ル者也。

刃傷トハ人ヲ切、疵付タル事也。

打擲トハ人ヲコキタ、ク事也。

蹂躪トハ人ヲフミケル事也。二字ヲフミニジルト訓也。

勾引人トハ人カトイ也。

路次ノ狼藉トハ一切路ヲフサク者也。上卷ニ巨細ニアリ。

28才(乱丁)

鬪諍喧嘩(口偏に花)トハ市町ナトニテイサカウ事歟。

管領、執事トハ侍処也。

検断トハ人ノ罪科ヲ聞立テ家内ナトヲシルス事也。

犯人召籠トハ先板ナトニテ推テ問ヒ不レニ謂ハシ

云也。

(ゴニカ) 乗テ水ヲクレ其後小蛇ヲ口ヨリ飲セテ問テ(ニカ)

二拷門トハ張付ニシテ廿ノ爪ヲコシ錐ニテ脚ヲ擽也。

二拷訊トハ火頂トテ銅ノ鉢ヲ焼テ頭ニ(覆カ)ニ頭焼碎ヲ云也。

断罪トハ臆テ切テ捨ルヲ云也。

禁獄トハ禁籠ヲハ材木ニテ獄屋ヲ造也。獄トハ土ノ穴ヲ堀テ押入ルヲ云也。

流張トハ憂処ヘ流ヲ云也。

火印トハ 類ニ燒金ヲアツル也。

追放カト 片髪ソルカ 剃歟、又鼻ナトヲ割テライ放ラ云也。是罪ノ輕重ニ可依也。大唐ニハ 罪科ノ重輕ニ隨テ三道ヘ

放ツ也。三道ト者一ニハ穴道ニニハ數道三ニハ暗穴道是也。先ツ上罪ノ者ヲハ闇穴道ヘ流ス。三七日ノ間闇穴

潜スル也。次中罪ノ者ニハ（藪カ） 穴道ニ流スラドロノ中ヲ二七日潜スル也。下ノ罪人ヲハ滋穴道ニ流ス。一七日ノ間

膝ダケナル水穴ヲ渡ス也。

次寺社訴詔 寺領社領ナトニ寄進スル地有リ。訴ハ上（下カ） ヨリ上ヘ申事、詔ハ上ヨリ下ヘツケ下サル、事

也。惣シテ日本ノ寺ノ始ハ仁王卅代欽明天王ノ御宇大和国久米寺ヲ立テ塔ヲ建立シ玉フ也。此塔ノ心柱ニハ善無畏

三藏大日經ヲエリ納メ玉フヨシ大師ノ縁起ニシルサル、也。

28ウ（乱丁）

惣シテ（王カ） 位ヨリ立ツ寺ヲハハ勅願所ト云ヒ公方ヨリ立寺ヲハハ御祈所ト云也。大唐ニハ 宮人ノ居処ヲ寺ト云ラ日本ニハ 僧ノ

居処ヲ寺ト云也。社紀州歟 日前宮是始也。其付テ神ニハハ四義有。一ニハ權者ノ神ニハハ実者ノ神ニハハ宗廟ノ神四ニハ

作ヲ（祚カ）保ノ神是也。第一ノ權者ノ神ト者往古ノ如来法身ノ大士ノ垂跡ノ神ナレハ利生濟度ヲ為宗ト目出タキ

御神也。第二ニ実者ノ神ト者荒神人（余白ニ「ヒ」見せ消ち）トテ恨ミヲ作呪リヲ作シ玉フ神ト祝奉也。是ヲハ

邪神（トモカ） 崇ルル也。第三ニ宗廟ノ伊諸マシ 弉御孫也。是日（疑問） 本地掲焉ナル御神也。又伊勢春日八幡

等宗廟也ト云。第四ニ祚保ノ神ト者他国ノ飛来リ玉フタル御神也。稻荷祇園賀茂等ノ神也。熊野三所等ハ權

者ノ神ニテ御座ス故權現ト申奉ル也。北野日吉ハ実者ノ神也。（已由上カ寺）

越訴トハ 前々ヨリ申付タル人ヲ指シ置別人ニ付申義也。

覆^(マ)堪^(ハ)トハ事ヲ相論スル時我レハ道理持ナカラ敵ニ道理ヲツケラレ後色々申披キナトシテ我^(カ)理ニ成^(ス)云^(フ)也。

庭^(ト)中^(ハ)我^(カ)理アレトモ不数身ニテ申次クヘキ人ヲ不持故、事ノ子細ヲ符ニ書テ公方ナト何方ヘモ御成リ時路次ノ辻ナトニテ直ニ目安ヲ捧奉^(フ)云也。大唐ノ惠果和尚ノ弟子三千人有。其中ニ分^(テ)モニ密ノ奥旨ヲハ弘法ニ譲リ玉^(ハ)ント思召也。然^(ト)モ余人ノ恨^(ミ)如何^(ント)思

27才

召渡シ不給也。或時惠果庭ヲ掃玉^(フ)。弘法見之ヲ走出テ御掃^(ラ)給^(リ)掃^(ハ)ト申玉ヘトモ惠果不渡シ給^(ハ)。良久敷シテ掃^(ヲ)投^(ガ)給^(フ)テ汝^(チ)ハ庭ヲハカン為歟、塵ヲハカン為歟仰ケレハ弘法愚^(ト)〔身^(カ)〕庭ヲハカン為^(ト)有^(レ)ハ其時ノ御約束ノ詞ニテ内ヘ入玉^(フ)。空海庭ヲ掃、我^(カ)学文処ヘ入、彼ノ掃木ヲ見玉ヘハ光明赫々タルニ^(リ)イル有^(リ)。夫^(レ)今^(ニ)東寺ノ(独^(カ))古、高野ノ三古、五古ハ御持物也。是^(ヨリ)奥^(ハ)日本記大日経ノサタ有^(シ)カ可秘^(ス)。今俗抄ナレハ筆ヲ投ケ口ヲ閉^(ト)云。然者空海モ庭中ニテ御望ヲ満足シ玉ヘハ今大事ノ義ヲハ直奏庭中^(ト)云。粗^(ト)ハアラ^(ク)申^(スト)云心也。

八月十二日文

御札トハ上古ニ紙無時竹札ナトヲ編ミ物ヲ書ツルヲ以テ今ニモ札ト云也。

將軍家若宮御參詣事トハ先ツ御參詣ニハ供奉日記トテ先代当代相替ヌ様ニサタ有也。関東鶴岡八幡宮ナトヘ御所ノ一代ニ一度ノ御參詣ト承也。八幡ト申^(ス)ハ一体三身ノ御神ニテ御座也。八幡ハ本地アミダ、正八幡ハ本地觀

音、若宮八幡八本地十一面ト云。

八葉ノ車トハ上ニ屋形ヲ輪花ノ形ニカサル也。公家一人ハ一位ノ仁車ニ乗テ後陣ヲ打玉フ也。

四位ノ殿上人トハ騎馬ニテ前陳(マ)ヲ打玉フ也。後陳(車カ)ニハ必ス只一人乗也。乗ル

27ウ

時ハ後ヨリ乗リ下ル、時前ヨリ下ル、ト云。將軍モ御參詣ニハ八葉車トテ葉ノ八ツ有屋形車ニ召スト云。其時ハ關東ナトヘ

八京都ヨリ公家殿上人ヲ申下云。又平家ニハ後車ヲ同車ト書也。同事也。女房衆ノ車ニハ二三人モ乘玉。

前駟トハ車ノ前ニ立テ路ヲ払ヒ披人ヲモ払也。

北面トハ内裏ノ南面ニハ公家達祇候シ玉。北面ニハ五位衆ケイ周(固カ)シ玉。是皆藤氏ノ人々也。安藤遠藤

内藤賀藤伊藤後藤此等衆皆北面也。惣シテ安芸遠江河内賀レ加伊豆豊後、此国々ヨリ登テ内裏ノ御番ヲ勤メ

玉。其ノ国々ノ片名ヲ取テ伊藤賀藤ナト、付ラル、也。

綺羅トハ衣表装束ノテリカ、ヤク事也。

陳頭トハ乱世ノ陳ニアラス。内裏ニテ大臣公卿諸大夫各ノ位ニ依テ我々カ座ニ烈座シ玉(マ)云尔也。世上ニ是詞ヲ

借テ武家ニ陳ト云也。

供奉ノ人々ハ御近習ハ淨衣白衣(直カ)垂也。

布衣トハ布ノ役御劔ヲ錦ノ袋入テ持。此人ハ随分ノ人。青直垂ノ装束ヲ着テ

(馬上カ)ニテ御車ノ副ハニ

(参カ)ル人也。

景勢トハイキ(マ)イアレト云心也。

好粧トハヨキヨソライト訓也。

家文トハ我々カ家文ヲ雜色小者等ノ衣装ニ付ル也。其内テモ侍ハ不付。我文ヲ用也。狂大ヒ（見せ消ち）文ヲ染テ着ル。弓胡籙等ヲ持申役也。是等中間ニ下モ也。御所ニハ中間無。三官領ニハ中間雜

29才

色共ニ有。其下ニハ中間計也。サル程ニ狂文ノ衆衫ノ袖ニ張木ヲカイ上ニ下ニ四ノク、リヲシメテ百人計リ石瓦立走。是ハ常ノ御參詣ニハ無シ。御代ニ一度ノ事也。

牛飼等トハ上ニ（公カ）家門跡ヨリ下牛飼等迄ニ至御供申也。

就レ中ニヨリ重代ノ重宝迄ハ御驚（警カ）固ノ武士ノ事也。

新調ノ美麗トハ今度ヲハレト出立事也。

隨兵トハ警固ノ外左右ニ有武者ナリ。

太刀帶烈ニ行トハ二並ニ行ク国大名ノ衆各太刀ヲ帶テ御（伴脱カ）申サル、也。是ラ小番ノ衆ト申。則烏帽子直

垂ニテ御走衆是也。

御帶刀ノ役人トハ御太刀持ノ役也。

御調トハ御矢ノ事。弓ヲハ御ダラシト申也。御弓持役人、是モ二行ニ並テ立ト見タリ。

扈從トハサウリ引シラウ事也。

御迎ノ伶人トハ舞童ノ義アリ。楽ヲ調ヘ綾錦ノ袖ヲ飛（翻カ）シ中途ヘ御迎ニ參者也。

御前ノ舞人輕躑ヲ打トハコートハコシツ、ミト誦也。

禰宜神主トハ幣ヲ捧テ挙言ヲ申。

巫八女トハ御子也。

裙帶トハ尾籠トテ公家ノ大口ノ後ニ引物也。

職掌神樂男トハ一類ノ者。黄色ノ直垂ヲ着テ立烏帽子ニテ祇候シテ調拍子ト云物ヲ摺也。

臨時陪從トハ八幡ノ祭。放生会ノ外ニ二月初卯ノ祭礼也。將軍御參詣ノ時結構申故ニ是陪從（從カ）ト云也。

当座神王（主カ）トハ其時ニ莅テ神樂ヲ致者也。

29ウ

（朝倉カ）返トハ神歌ノ大事有。天照大神天ノ岩戸ニ引籠玉シ時諸神歌玉ヘルヲ朝倉ト申也。神主八乙女ノ秘事ナリ。

礼奠賽トハ先規ヨリ有様ノ義一ツモチガエスト也。又礼奠トハ精進ケツサイスル意也。又文集ニ無ク暱クシヤ（又は羶、羊偏ニ星）ト云草ハ精進ノクサキ物也。腥（同上）ハ魚ノナマクサキ事。此ニツラ断ラ礼奠ト云也。

如在トハ論語ニ祭ニハ神ヲ々ノ如レ在スセヨト。又譬ハ主君ナトニ直ニ奉レ相如クセヨト也。恐敬ヲ如在ト云也。世ノ人ハ一向疎略ノ体ヲ（如カ）在ト云。非也。

神感興トハ感歎ヲ致（トカ）ナリ。

嚴重トハ祭事ヲ嚴重ニスレハ神モ納受シ感有義也。

掲焉トハアラタナリト云心也。

秃筆トハカブラ筆也。

仰高察トハ御察ヲ守ルト也。

而也トハ以上ノ理畢ヲ条ル詞也。是レノミト云心也。

九月十三日文

御法談トハ經論ヲ讚談スル義也。

唱道トハ法事ノ主頭。其日導師也。

侍者ハ唱ハ（喝カ）食。髮ヲ剃ハ〔剃〕と〔刀〕とを密接させ一字としてある、以下同、沙弥ヲ經テ後侍者ニナル。禪家ノ侍僧也。

聽叫トハ白ヨカ着テ人ノ奏者ナトスル者也。又カイシヤウヲ打者ナリ。

請客トハ客人アイシラウ僧也。

頭主トハ衆僧ノ座頭スル人ナリ。

力者トハ狂文ノ衫ヲ（不用カ）ニテ白袴ニ結リ入テ働ク也。

駕輿トハコシ也。

丁ハコシカキ也。

精舍ハ寺。

一字トハ一舍ノ事也。

金堂トハ根本堂也。

宝塔トハ

多宝ノ塔也。

経蔵トハ 一切経納処也。

食堂トハ 一寺ノ衆徒同会ノ時ノ食処也。

僧坊トハ 寺中ノ坊々也。

等身トハ 旦那ト仏ケノタケト同ナルヲ等身ト云也。

白檀トハ 白ヲ (カ) ミガキニシテ、サイ カサルヲ云也。

脇士トハ ワキ立。不動ヒサ門ナト也。

摺写ノ 経トハ スリウツス経卷ノ事也。

(以下脱字カ)

夫釈迦如来靈鷲山ニヲワセシ時母摩ヤ夫人ノ御為ニ諸大ヲ漢ヲ引ツレテ四月十四日上界登玉ヲ 摩ヤ経ヲ説玉ヲ。是ヲ安居ノ法師ト申也。七月十六日ノ朝下界下玉ヲ。諸僧開夏シ立去ル。此夏中ヲ一夏持マシ濟ト申也。

斗藪トハ 頭陀ノ梵語也。

接待トハ 宿処ヲ 定テ 往来ノ僧衆ヲ 供養スレハ、マチテスクウト也。

千僧供養トハ 千人ノ僧ヲ 供養スル内ニラ漢一人供為也。

非人施行トハ 毎日ノ門乞食ニ物ヲ 引事也。

布施トハ経タラ尼ヲ誦誦セシメテ錢等ヲホトコス事也。是範叔ト云者始也。

被物トハキル物ト書也。絹布ノタクイ也。

録物トハ錢ノ類。又灌頂ナトノ時御児金作ノ太刀ニ素絹ヲ添テ出物也。録物、捧録ノ引物也。又云、児ヲ幽ニ

誘ヘテ綾錦繡衣裳部類ヲ導師ヘ引物也。録物ハ衆僧ニ引物也。

啓白トハ詞計ヲ以テ也。

一磬ヲナラストハ上天下界ノ三宝諸尊ヲ驚シ奉也。

九月廿五日文

誓願トハネカイチカウ也。

凡情トハ我等如キ凡夫ノ習ト

30ウ

(云事カ)也。

手輿トハチリトリナントノ類也。

諷誦トハ旦那ノ方ヨリ書テ導師ヘ送ル也。

願文トハ仏陀ノ事委細導師ノ方ヨリ書テ諷誦ニ添テ置テ法則ノ時誦也。三宝僧聞ニ驚ト云。

法花八講トハ講師西ノ登高座シテ法花ヲ講スレハ講師東ノ登高座ニ点然トシテ不云物、手マネ計スル也。是則

釈迦多宝ノ一仏ノ内証也。多宝ハ過去如来ニテ御座スカ今釈迦如来ノ説法シ玉フ証明人トシテ高座シ玉フ心也。過

去七仏ノ説法ヲ手本ニ一字モチカワサ、ル如シト云。

登高座ハキザハシノ有座ノ事。

講師ハハ或ハ祭文ナト読ム人。

読師ハハ経ヲ始也。

注記、豎者トハ豎義会ヲ行ヒ八講ノ役ヲナシテ後ニナル也。注記豎者ハハ官ノ名也。

証義、探題トハ一人ノ官也。豎者ハ答者也。探題ハハ問者也。

精読精義ハハ論義ノ法主明シテ也。

唄ヨリ以下祝願迄ハハ如常。

伶人トハハサ、メ人トヨメリ。百廿帖ノ樂ヲ奏スル也。

舞童トハ兒四人シテ舞也。是ヲ秦平ト云也。昔秦ノ国王祖ト申、幽ノ国王ヲハ高禹ウ（脚の部分が「山」以下同）ト

申奉也。或時高祖ノ内裏ヘ高禹御座キ。酒ヲ始、秦平樂ヲ舞ヒ禹王躡馬童ト云童子ヲ召シ具セラレシガ是ハハ秘

処ノ事ニテ候間人ヲノケ玉ヘトテ門ヲ閉テ三人三尺劔ヲ拔持テ魔王降伏ノ篇拜ト号シテ樂ヲ吹ハヤサセ舞コト是併ラ

高禹ノ祖王ヲ討チ玉ハントノ

31才

計事也。尔ニ門外ニ班会ト云者樂ノ調子ヲ聞ケハ急キ樂ニナリテ死位ノ樂有。班会是ヲ聞キ帝王ノ御命恠キトテ門ヲ打

破テ門ニ参リヤカテ大動鍊ト云フ劔ヲ拔テ共ニ舞ケレハ高禹ノ計事モ不叶也。其時ヨリ秦平樂四人ニナリニケリ。

サレハ災難ニ払ヘキニハ秦平樂四人ニテ舞ヘハ四方ノ夷ヲ劔ニテ切り払心也。又聞悪事ヲ外聞ト云事其時ヨリ始也。

班会門外ニテ有事ヲ知テ躡馬童禹王ニアイ詞ヲ申セハ外聞ニ人有、後ノ嘲有ヘシ、今ハ舞ヲ止メ玉ヘト云フ。文撰ノ表ノ卷ニ具ニ有。

縁道ノ絹トハ庭義ノ灌頂ノ時庭ノ路通ニコモ敷、其上ニ布ヲ敷ヲ云也。

繪蓋トハ法事ノ道具。白蓋ニテ内道場ニ入道具歟。

白払トハ禪家ニハ払子トテ白牛ノ尾ニテ作物也。

纏頭トハ五月九日ノ文ニアリ。

周章モ如上。アワタ、シクナキ様ニト也。

十月十三日文

入院ノ新命トハ当住始テ東ヨリ寺へ入玉ハ八追院ノ西門ヨリ退キ玉フ。惣シテ禪家方ハ替持成故云尔也。

相看トハチカクヨリ事ヲ申事也。

看經トハ經ヲヒソカニソラニ読ヲ云也。

諷經トハ訪經也。

大濟トハラウキニスクウト訓。

結夏已前トハ惣シテ年中ノ時分ヲ指ス也。大濟(ナカ)トラスル比ハ俗出トモニ夏中ニハ心ヲサシヲ持、毎日花ヲ立テ

夏精進ナトヲ致故云

31ウ

尔也。十月ノ文ナレハ其分ニ相当セスナト、不可思也。

嶌請トハヲソレカシコマリテ請スルヲ云也。

点心トハムナヤスメトヨム也。又大法会ナトニ氣ヲ尽^{ツク}カス間心ヲ歴^カ慰カ^ルルヲ云義也。

堂頭トハ長老事。和尚東堂西堂左右ヲ論^カフ人也。

知事トハ一切寺ノ燼^カヲスル也。

都守^カ、監寺トハ所領ヲ知テサハク人也。

維那トハ堂前ニテ始ルル役人。時ニ莅テ他所ナトニテモ経ヲ始ル人也。是ハ声明キ用ノ人ヲ用也。

典座トハ味噌塩米酒等アツカウ者也。

直歳トハ米ノ惣奉行也。

都管、都聞トハ僧名官ナト付ケテ計フ人也。

修造主トハ作事奉行也。

堂主トハ施食靈供ナトヲ供スル役者也。
シシテウ

淨頭トハ東司ヲキヨムル者也。

頭首方トハ前堂後堂ニ学文^{シテ}義ヲ知ル人也。

首座トハ一座ノ頭ヲ云也。

書記トハ物書人也。

蔵主トハ庫奉行也。

知客^{トハ}客人ノ奏者^{スル}人也。

浴主^{トハ}風呂奉行也。

焼香侍者^{トハ}長老化行ノ時ハ焼香箱持役也。

書状^{トハ}長老ノ御前ニテ書状認人也。

請客^{トハ}客人ノ時罷^リ出ア (イカ) シラウ者也。

湯薬^{トハ}先師ノ前ノ茶湯ナトスル者也。

衣鉢^{トハ}長老ノ袈裟八子持^ツ者也。

耆旧^{トハ}経アカル僧多^ク云也。老僧也。

塔頭^{トハ}七堂ノ外、部坊ノ沙弥^{トハ} (目移^リカ) 数有^ク云也。各旦那^{ヨリ}立^ル坊也。

旦過^ノ僧^{トハ}江湖ノ僧、一宿スル処也。

山主、庵主、何^{レモ} (以下脱字カ)

沙

32才

弥^{トハ}俗人ナト、カミヲソリ寺ノ釜ノ火ナト焼^ク云也。沙ミハ梵語也。翻^{シテ}勤息^{ト云}。心ハ勤^メ善^ク息^ム惡^ク義也。

喝食^{トハ}童子ノカミノ付タルヲ云也。西天竺^{ヨリ}童子来^{リテ}出家^{ヲ望}ム。仏彼等^カ氣^ヲ見^ン為^ニ三年髪^ヲ不^レ剃^ル仏餉^ヲ供^セシムル故^ニ僧堂^{ニテ}喝^ク者^ヲスルト也。付^其男喝食^ヲ式刃摩耶^{ト云}ヒ女喝食^ヲ式刃摩耶^{ト云}ヒ也。ヒタ

イニカミヲ、キタル事ハ衣ヲ着キスヘキ為メ也。衣ヲキル事ハ髮ヲ剃リテ着ルコト本義也。尔ル今ハヒタイニ髮ヲソイサ

キヲ切テサグルガソル心也。

行者方ニハ參頭トハ行者ノカシラ也。

副參トハ同宿也。

望參トハ入同宿ノ事也。又副參望參ハ張物洗濯奉行トモ云也。

供頭トハ調菜カシラノ事也。

堂司トハ諸堂ノ花香油ノ役也。

庫子トハクリ坊主也。

炭頭トハ炭ノ奉行也。是ヲヲコシ炭ト云。心ハ摺ル墨有故也。

兄部トハ調菜方ノ物ヲ入ルニ随テ出納スル人也。

— (山守カ) トハ薪ノ奉行也。

木守、門守、何モ役者也。

火鈴トハ時ノ出タル時フツテツグル者也。

八斎トハ行者ノ如ク庭ナト掃者也。

檢校トハ金剛峯寺ノ法頭ヲ申也。東寺ニハ長者、叡山ニハ座主也。書写ニハ院主、根来寺ニハ院主学頭、三井寺ニハ

長吏別当ナト也。

執当、先達トハ山伏ノ司スル人也。

大勸進トハ善光寺ナト。山中堂ナトモ大勸進ト申也。

得業、已講ノ類、皆

32ウ

官也。奈良大衆ニ有。又已講、堂達ハ最勝会法花会ノ論談ナトスル人陰居ナトスル人也。去程ニ堂達ハ老

僧ト申也。

専当ハ何事ヲモ走廻者也。

預中方トハ山高野ナトノ衆徒行人ノ中ノ衆也。

匂当、都維那トハ山伏ニ用名也。又風呂奉行也。

寺主トハ鐘ツク者也。

承仕、宮仕ハ庭ナトキヨムル者也。

有識僧綱トハ一寺タル処ニハ諸財ヲアツカウ人ト云。

相伴トハ客人ノ時出テ食物酒ナトス、ムル者也。

倍当トハ飯米添事也。

外僧堂トハ座禅ノ僧也。

徒僧トハ門跡ニテ宮仕者也。

駟使トハ定使也ト云。

同朋トハ力者也。

掛塔クハタ（左に「スイサン」と傍訓）ノ僧トハ他寺ノ僧ナトヘンサンノ為サトニ一夏一会居ラ云也。

十月日文

大斎トハ大ニイトナム事也。

方丈トハ衆僧ノ頭也。此位ノ人ハ常ニ綾紫ラ着也。

素羅スロ八文ナシ。

青番羅シシ青クシツガアラキ文有。

サンハン砂トハ綾アヤノ上ニ縫物ラスル也。

頭紋紗トハウチ織ラ云也。又大文有ト云。

花番羅トハ赤キ色ノ口。美歟。

黄草布トハ唐布也。又島布トモ云也。

上品ノ細布トハ方丈西堂ノ御布施ト云。

素紗素（系偏に砂）トハ白キ紗也。

梅花トハアカキ綾也。

襖単紋ヨウタンザン（衫カ）之絹トハス、シノ絹也。襖ハスウウト誦也。

花修レウ（綾カ）トハ木綿ノ出所ト申。色有木綿也。

素紗衣、袈裟トハ立ッハ赤ク横ハ白シト云。

33才

帽子^{トハ}廬山寺ノ惠音禪師着出玉フ也。昔大阜リスル時人ノ首^モ照^リ破^ル程ナリシ時彼惠音法師雨請^ラナサル

也。然^ニ余^リニツヨクテル間御門^{ヨリ}法師^ヘ御衣ノ袖^トイテ進^ル也。唐音^{ニハ}是^ラモウス^ト云也。

拄杖^{トハ}ガシヤウト云虫ノ中骨^ヲ表^ル也。

脚榻^{トハ}月偏^{トハ}腰カクル者也。又イスノ足伝^{トモ}云也。

布^ケ(^ケ)の右に^フと有り^シ衫^{トハ}同服ノ如ク成物也。

鉢孟^{ホイ}(孟^カ)巾^キトハ^ハ椀折敷ノ^マコウ物也。

脚布^{ヨリ}肚脱^{トハ}如常。

蒲団^{トハ}座禪ノ時敷物也。

瓶^{ヨリ}蠟^カ(火偏)ソク迄^ハ如文。

篋^カ(竹篋^カ)、教尺^{トハ}竹ニテ削^リ人^ヲ打杖也。

曲^{トハ}杓^{トハ}イス也。

法被、打敷、水引、何^モ仏道具也。

点心^{トハ}法会ナトノ時終日ノ勤行^ニ氣^ヲ崛^{スル}間^心ナクサメン為^ニ珍物^ヲ備^ル也。

水織^{トハ}蟾^ニ似^{タル}物也。或^ハ帝王精進召サル、時ヨロツノ魚鳥^ヲマネタル也^{ト云}。

温糟^{トハ}粥ノ事。釈迦^{トハ}山ノ時或^ニ尼^ト參^{スト}也。

砂糖^{ヨリ}羊羹^ト々(以下脱字カ)

素（素カ）餅（麥繞に并）トハ（麦カ）キ繩トテ素麵ノフトキ物也。又ネチト云物トモ云也。

客料トハ人数ニハツレタル人。内々居ル也。

茶具（提蓋トハ）胡蓋ト云所ヨリ出ル也。

饒州トハ胡国ニ有。

菟足トハホン掃物也。ウサキノ足ノヤワラカナルヲ云也。

辛辣トハカラミノ味ト過タル物也。

雪林菜トハユキアイト云菜ノ事也。

山葵ノ寒汁トハ（以下数文字程度空白）

牛房トハ牛尾ニ似ル故云尔也。

蓆子トハマコモノ中ノ

33ウ

白所ト云也。是ヨリ菱迄ハ如常。

田烏子ニ有物也（異本「田ニ有物」）。

請暇トハイトマヲコウ、諸用ニ依滞留スル僧也。

病暇トハ違例者ノ事也。

寮（ウ冠無し）暇トハリヤウニ隙入テ留守ニ居僧也。

暫暇トハ寸ノ隙ノナキ僧也。

無差^ト平等ノ事也。

十一月十二日文

心氣^トハ心ヲツクス病也。

腹痛^トハ五藏ノ煩也。

更発^トハ氣ノヲコリサメノ事也。

藪藥師^トハ難經素問靈樞金龜^シ甲乙之、此五經ヲ不知^ラヤブグスシト云也。五經委不知也。

和氣、丹波^トハ藥師一流ノ氏也。

典藥^トハ内裏^ヘ參ル藥師ノ事也。是^ヲハ藥殿^ト申也。

施藥院^トハ先^ツ藥師^ヲ始^ルル都^ニテハ七口^ニ札^ヲ立^テ無緣ノ者^ニ藥^ヲ与^テ其後^ニ医者^ト云也。是^ハ色々ノ病^ヲ見^テ藥^ヲ加減^ヲ可
知^也也。施藥院仁王四^十代(聖カ)武天王^{ヨリ}始也。御后ノ光明皇宮^(マカマカ)如^ト申^ハ藥^ヲ無緣ノ病者千人^ニ自^ラ

アライコシラエ^テ与^ハ玉^ヲ時九百九十九人迄如此。今一人ノ時世^ニツタナキ者来^テ乞。御願ナレハ是^ヲモ編
(隔カ)サス、アライ^テ藥^ヲ与^ハ玉^ヘハ此者ノ身^{ヨリ}光^ヲ放^テ東方^ヘ搔消様^ニ上^カラセ玉^フ也。其ノ光^リ后ノ御身^ニウツ

リ玉^ヘハ其^{ヨリ}光明皇后^ト申奉也。施藥院^トハ藥医様ヨミ也。

拳達^トハ知^ラセヨト云心也。

針治^トハ病^ニ依^テハリ^ニテナヲス事也。

術治^トハ

34才

マシナウテナラ(ヲカ) ス (見せ消ち) 事也。祭り事ナトスル義也。

上気トハ 風心地ニテ 氣アガリ目舞心也。

荒痢トハ アラキハラ也。

赤痢トハ アカキハラ也。

内痢(痔カ) トハ 尻ノ病也。

内瘰トハ 腹中ノワツライニテ 痢瘦スル也。

癰、疔トハ ハレ物也。

瘧病トハ ヲコリフルウ事也。

喙(咳カ) 病トハ 首ノ寒也。

疾齒トハ 虫クイハ。

膜トハ 目カイクシテ赤筋有。

癲狂トハ クツチ病也。

癩病トハ 貌ダケナト身損シ瘡出ツル也。是ニハ

(見せ消ち) 白癩黒癩トテ二様有。黒癩ハク クロアザ也。

傷寒、傷風トハ 腸ノ内ニテ 寒熱ヲ ヤム也。

擣籩トハ 薬ヲ ハタキ、コニシテフルウ物也。

補薬トハ ヲギノウ薬也。

一 (マ) 濟 トハ 藥五種トモソロヘ合スルヲ云也。

禁好物 トハ 病者ノ毒ヲエラビ藥ヲコノム義也。

合食禁 トハ 食ニ付テ敵藥多シ、イマシメヨト云心也。

秦 ハ 氏也。

十一月日文

玉章 トハ タマツサノ事也。上ノ 六月七日ノ文ニアリ。

敵旨 トハ イツクシキムネノ詞也。

名医 トハ 本道ノ藥師ノ義也。

權ノ侍医 トハ 吉キサブライ藥師一道ノ事ヲ知ル人。内裏ノ本医一人有。其隙入ン時ノ為ニ一入コシラヘタル人也。

拔郡 (マ) トハ 五十里四方ニ勝レタルヲ云也。

五木 トハ 楮桃柳桑杉是也。又槐 エニシユアラフ 櫓ヲモ添ルト云。

八草 トハ 蓬ノソクツスイカツラ名 (石カ) 葛メハジキ麻大ハコカキドヲ。

温泉等 トハ 石風呂

34ウ

ナトノ事歟。其レ八唐ノ玄宗后楊貴妃ヲ寵愛有 (時カ) 貴妃二月中旬ノ比 瓜ヲ願玉ヲ 時玄宗温泉ト云事ヲ

タクミ玉フ也。先石ヲヤキテ温（湯カ） ヲカケ置キ玉ハ、アタリノ土アタ、カニ成間鼠ニ瓜ヲウエ玉ハ八臈而ウリナリ出キケリ。此ヲ貴妃ト云奉ト云。詩ニ内園分チ得タリ温泉ノ水二月中旬ニ進ム瓜ヲ君一。歌ニ云、二月キノ半ハゾナレルユノハタノ其ノウリツルニ花サキテノチ。

又坊内過度 明ケ又暮レ家ヲ去ルコトモ無ク姪欲熾盛ナル事也。

酩酊トハ大唐ノ江南ニ或虫、熟柿ノ様ニシテ目鼻ナトナキヲ名ヲ泥ト云也。人酒ニ酔タル時彼ノ虫ニ似ル故云尔也。睡眠昏沈トハ昼迄ネテ、ヤウ／＼ヲキ食事シテ又臈而又ル事万病ノモトイ也。

形義ノ散動トハ身ヲアラクウゴキハタラクモ血ノ道散シテ悪キナリ。

所作ノ身苦トハ一日ナトニ作ヘキ事ヲ一時ナトニ致ス事目（日カ） ヲツクシ骨ヲ折ル故悪キ也。

恋慕ノ辛苦トハ人ヲ恋イ思フ事心ヲツクシテ悪也。

長途ノ窮岨 旅ナトニ出、家ニ地ノ事ヲ思ヒ歸テクタヒル、ヲ云也。

閑居ノ朦氣トハアマリニ徒然成処ニ独リ居テ月日ヲ送ル事悪也。

愁歎勞傷トハ余リニ物ヲ悲ミワヒル事悪キ也。

闕乏失食トハ食トモシクシテ、ウエカツヘスルコト

35才

悪キ也。

深更ノ夜食トハ夜半ナトニ食スルコト悪キ也。

五更トハ丑寅ノ時ナトニ湯茶ナト吞ムコト悪キ也。

塩増飲水トハ塩ノ過タル物ヲ食シテ水ヲ吞コト毒也。

浅味熱湯トハ又塩ヲモ無ク水クサキ物ヲ食シテ湯ヲ吞コト悪也。

寒氣ノ薄衣トハ冬ノナトウスキ物ヲ着ツレハ必ス病起ル也。

炎天ノ重服トハ夏ノ日ナトニアツク物ヲ着テ居ルコト悪キ也。

已上何レモ養性ノ為也。

十二月三日文

御任国トハ公家ナト国ヲ給テ下国有義也。

烏菟トハ日月ノ事也。日ヲカラスト云事大唐堯ノ御代ニ日九ツ并テ出ル事アリ。羿射之ヲ薄（落カ）スニ九ツノ烏ト

ナツテ落ル也。此羿力放ツ矢ハイツク迄モ廻リ行テ物ニアタル也。又日ノ内ニハ三足ノ烏ト云説有。依之ニ日ヲ烏ト

云也。是何モ化生ノ物也。月ヲ菟ト云ハ昔菩薩万行ヲ作玉フ時諸鳥ケタ者ニ至ルル信之。中ニウサキ薪ヲ集メ

身ヲヤキテ菩薩ノ御供ニ備。帝尺是ヲ感シ玉テ月ニ乗、天ニ上玉フト云。

国ノ土産トハ国ノ宝ト云也。

旅籠振トハ旅ナトヲシテ歸リ人ニ振マウ事云。

在庁官人トハ国ヲ任シテ下リ其国ニ有故（政カ）処ナトニ官人ヲツカヘルヲ云也。庁ハクリヤトヨム。

凡任国トハ国ヲ領ル也。惣シテ任国ハ四年也。

35ウ

政道吉ニ依テ百姓等君ヘ訴詔ヲ申セハ重テ任ルヲ重任トテ八年也。夫過ヲ十二年。持任ト云也。

符^(マ)辺トハ国土ノ符中ナリ。其国ノ辺土ノ者符中ヘ参集故ニ尔云也。

着任トハ京ナトヨリ下国ノ時付テ下リ其任居ル者也。

着符トハ其国ニテ参符中ヘ(披カ)官ナトニツク者也。

大奏トハヲ、イニス、ムル心也。

饗膳トハ廻リニ尺五寸高サ一尺八寸ノ膳也。ヨメ取リナト此ニ生キ物ヲ菜ニ備ル也。是ヲハ不食、別ニ膳ヲ

(取カ)替也ト云。

両様納法トハ則年貢納ルコトヲ云歟。

郡司トハ郷司ウケ玉ハリ判官代等ニ沙汰申義也。

十二月三日文

御消息トハ昔大唐王御座。文ヲアソハサントテ筆ヲ染メ文字ヲ余^{フカ}深ク(案カ)入テ絶死シ玉フ事有。是ヨリ

云レ尔也。又消ハ陰ナリ。息ハ陽也。息通リヲ筆ニ書、口ニテイハスシテ此文ニ行テ万端ノ事ヲ息消ヘヤスンテ

物ヲ如ニ云云。

披閣(上欄)に「閱」^{エツ}「閱」と有り)トハヒラキヒラクトヨム也。

遼遠トハカニトヲシト訓スル也。

忙(惘カ)然トハアキレハテタル義也。是ヨリ美物迄ハ如上。

庁庭経営^{トハ}政所則クリヤノ事也。

留守所^{トハ}旧国^ヲ云也。

大介^{トハ}国^ノスチ^{スケ}（見せ消ち）也。

税所^{トハ}年貢ナト

36才

ウケ取^ル所也。

留記^{トハ}ヒサシキ文書也。

覆勘^{トハ}状^ヲクツカエシ見^ル事也。又沙汰^ノ破^ル、^ヲ取成義^{ト云}云。

郡司^{トハ}コウリヲアツカウ人也。

権^ノ守^{トハ}沙汰人也。

小目代、本目代之内^ニ有者也。

国宰^{トハ}国^ノサケワケヲ知者也。

下司^{トハ}庄^ノ司也。^{ツカサ}

徴使^{トハ}ハタリツカイ読^ム也。

交分^ノ宛文^{トハ}年貢^ト百ナレハ八十添^ヘ八年（斗^カ）ナレハ八升（舛）
（添^カ）^ヘシカト引付有事也。

給分^{トハ}自本持処領事也。

交「」（分^{トハ}）^カ人ノ田地ナトヲ取^ル事也。

名主トハ其所ノ百姓ノ頭也。

返抄トハ年貢納テスム時地頭ヨリ請取ヲケル事。又百姓方ヨリイカ程納マルト云状云也。

貢絹トハ内裏ヘ奉ル准絹准布御服ノ外ニ參ル絹也。

准絹准布トハ錢ナトヲ准擬シテ拳ルラ云也。

祖穀(マ) (祖カ) 米トハ古飯米収ル事也。

直進トハ請文ハ (内カ) 義ニテ直ニ捧者ヨソ(ラカ)文。

率法トハ引付ノ義也。

別納直進トハ本代官ヲ指置テ別人ニ催役ナトサセテ納ルハ君ノ御為ニ別ニ納ルル百姓ノ為ニ直進也。

徵納トハ催促セラレテ納也。

濟期トハ納限期也。

色代ヘトハ布ナトヲ錢方ニ収ト也。

来納過上トハ納過シタル義。明年迄ヲ取ルト也。

検田トハ田ヲエラヒ

36ウ

損亡ヲモ勘定シテ可取ト也。

散失トハチガウヘカラスト思ヘトモ算用ノチガウ事也。

都合ヨリ莫大迄ハ如文。

無_二難濟_一トハ年貢ナス事スナラ成様ニト也。

保_{トハ}庄_一内保也。惣_{シテ}云時_ハ国内_ノ郡、々_ノ内_ノ庄、々_ノ内_ノ保、々_ノ内_ノ郷、々_ノ内_ノ里、々_ノ内_ノ村、々_ノ内_ノ里也。

巨_{トハ}多_{トハ}大_ニ也。

雅意_{トハ}世俗_{ニハ}狼藉_ヲ云_ニ意得也。只今義_ハ公_ノ任ナルヘシトナリ。

慶長三年正月 日 於江州 惣持寺客坊書写了

日州曾井之僧 深覺

37才（原裏見返しカ）

一指南_ト者教訓_ノ義也。車_ノ故事也。周_ノ時南越_ノ使者欲_レ歸_ニ其国_ニ忘_ル久路_ヲ。周公曰造_レ車_与之_ヲ。車上_ニ

置_ラ木人_一以指_ニ教南_ヲ。使者遂_ニ得_レタリト歸_ニト_ナ南越_ニ。由是_ニ謂_レ教訓_ヲ為_ニ一_ト也。

一面_ヲ謁_スマウス（左に「ツグ」と傍訓）字書ニアリ。

観音寺

浄光院什物

37ウ

(白紙)

38才

右

庭訓往来抄

巻冊

宮崎市神宮三三

日野巖氏所蔵

昭和十六年二月写了

(完)

付

当正誤表は、本誌第五十五卷第一号及び第五十六卷第一号に掲載した「天理図書館蔵『庭訓私記』翻刻（一）」「（二）」のものである。作成に当たり鈴木元氏（県立熊本大学教授）より多大な御示教を頂戴した。心より感謝申し上げる。

正誤表

											(二)		
5 才	4 ウ	4 才		3 ウ	3 才	2 ウ	1 ウ				丁		
7	5	3	6	2	1	5	1	12	3	2	3	2	行
々	挟 <small>アハサ</small>	影	ヘン	弦	松遊	貴	御	多 <small>ント</small>	致	隱	尺	姓	誤
四 <small>カ</small>	挿 <small>アハサ</small>	陰	偏	絃	相心	其	仕	多 <small>ント</small>	敷	陰	積	性	正
9 才	8 ウ	8 才	7 ウ	7 才	6 ウ	6 才	5 ウ						
2	10	20	10	8	3	3	2	18	12	11	6	8	17
ナ ウ	暴	サ	囊	時	ソ	栗	塚	呉	事 <small>ト</small>	伝	障 <small>ニ</small>	隱	茗
ナ フ <small>カ</small>	暮 <small>（暴カ）</small>	シヤ	裏	事	ソ、	粟	堺	胡	事 <small>ト</small>	侍	障 <small>ニ</small>	陰	品

	13 才	12 才	11 ウ	11 才							10 才	9 ウ							
	11	4	13	12	4		3	13	10	9		6	2	5	10	9	5	3	
御 教 書	不 否 _ア 二	之 _ヒ 処	処	操	羅	天	遂	鬧	念	鍊	鍛	鍛 鍊	焼	隱	ハ ヤ シ	々	嶋 隱	ミ ナ	
御 教 (書 冊 _カ)	善 _ニ	之 _ヒ 殿	殿	探	蘿	之	遂 (遂 _カ)	鬧	恩	練	煨	緞 _マ 練	灯	陰	ク セ シ	〈	島 陰	シ ヤ (ミ ナ カ)	
(二)																			
		19 才	18 ウ	17 ウ	17 才			16 ウ	16 才	15 ウ	15 才		14 ウ	14 才					
	7	5	3	2	1	9	7	11	4	2	2	10	2		5	2	4	1	17
堀	堀	流 _シ	蒲 _ノ	候	聞	定	胎	部 _カ	寔	顔	積	取	句	奉	思	杖	漣	粉 _レ	
堀	堀	流 _レ	蒲 _ヲ	候 _ヘ	問	勘	腹 _マ (誰 _カ)		定	頭	積 _尺	被	向	来	思 _ヲ	扨	漣 _尺 (尺に漣)	紛 _レ	

			22 ウ	22 才	21 ウ	21 才	20 ウ	20 才								19 ウ		
17	14	4	2	8	2	6	3	10	3	3	4	8		5	4	2		
名	糺	奇	奇	羯	嶋	胡国 _二	我 _一	者	云也	頭 _一	筑	太夫案	給 _一 程	仰 _一	太夫力	べ	大	院ナ
字	紀 (糺カ)	寄	寄 _マ	羯 (言偏力)	嶋	胡国 _ハ	我 _カ	者 _カ	云 _云	頭 _一	築	太夫案 _マ	給 _一 権	仰 (脱字有る力)	太夫力	へ	太 _マ	門ナ
		28 才			27 ウ	27 才	26 ウ	26 才		25 才	24 ウ			24 才		23 ウ		
	6	3	15	5	2	16	6	5	12	10	8	2	9	8	4	13	11	
臆	会	会	伝	と	抄 _ハ ヤ	(ル _{脱カ}) 也	字 _反 ヲ	氏	職 _マ	海	筑	芽 _(牙)	致	ツ	奇	祢	事	筑
憶 _マ	噲	噲	伝 (縛カ)	ト	揃 _ハ ナ	レ _カ	字 _反 ヲ	氏 _一	職	島	築	牙 _(芽)	敷	フ	寄	禰	事 _カ	築

			35 才	34 ウ		33 ウ	33 才	32 才					31 ウ	30 ウ	30 才				
	8	7		5	5	1		16	11	11	14		12	11	9	6	10	8	1
讓 御	何 縦	勘	勘	有	晴	官	官	乱	祈 禱	笋	是	引 シ	曇	薄	生 シ	勝	令	往	
讓 給	何 程	堪	堪 (マ)	有 リ	暗	管	管	疑	相 後 (カ)	笋 (マ)	其	引 レ	雲	落	生 レ	騰	今	往	
			40 ウ	40 才		39 ウ	39 才		37 ウ	37 才			36 ウ		36 才		35 ウ		
	13	2	15	13	9	1	14	8	2	7	11		9	3	7		5	2	1
抱	義	袈 衣	ス	而 八	明 ×	操	禿	断	大	警	警	警	着 間	ト テ	警	伺	第	第	
提	成 (義 カ)	袈	又	而	明 シ テ (カ)	釈	先 (禿 カ)	絶 (カ)	太 (マ)	驚	驚	驚	着 弓	片	驚 (マ)	祇	掃	掃	

46 才	44 ウ		43 ウ		43 才	42 才		41 ウ	41 才
2	11	3	13	11	5	21	18	5	1
〵 其 不 ^マ 留 ^レ 淫 事 群 義 盃 盃 は 堂									
丨 夫 不 ^マ 当 ^レ 姪 半 郡 ^マ 義 ^レ 也 盆 盆 八 重 (二カ)									